

# 【クレジットカードに関する総合調査】

## 2022年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様（JCB会員・非会員を含む）を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2022年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場（保有・利用実態）について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

## 目次

<b>I. 調査設計</b>	<b>3</b>
<b>II. 結果の概要</b>	<b>4</b>
1. キャッシュレスの利用状況	6
2. クレジットカード保有率	8
3. クレジットカード保有・携帯枚数	9
4. クレジットカード利用頻度	10
5. クレジットカード利用金額	11
6. 保有クレジットカードの利用理由	12
7. クレジットカード利用業種	14
8. 支払いの際のクレジットカード利用割合	17
9. 月平均生活費とクレジットカード利用額	19
10. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	20
11. デビットカードの利用状況	21
12. 電子マネーの利用状況	22
13. コード決済の利用状況	23

# I. 調査設計

- 調査時期 : 2022年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人(20代から60代の男女、学生を含む)  
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

## 当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2022年度)の調査結果を中心に、2018年度~2021年度との比較を含めて作成しております。本調査において選択肢の表示順序による回答への影響を除くことを目的に、設問によって表示順に対してランダムイズ制御をかけた質問方法を採用しております。

### <回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体		
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500
	女性	322	378	322	396	342	1760			
北海道	男性	19	29	27	34	27	136	292	北海道	292
	女性	27	31	29	38	31	156			
東北	男性	16	14	15	18	14	77	152	東北	152
	女性	13	14	15	18	15	75			
北関東	男性	16	16	14	18	14	78	152	首都圏	1055
	女性	13	15	14	18	14	74			
首都圏	男性	95	111	85	93	79	463	903	甲信越・北陸	151
	女性	84	103	79	92	82	440			
甲信越・北陸	男性	14	16	14	18	14	76	151	東海圏	450
	女性	13	15	14	18	15	75			
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	近畿圏	650
	女性	28	34	26	31	28	147			
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150	中国・四国	300
	女性	13	16	14	17	15	75			
京都・大阪 ・兵庫	男性	46	55	43	53	47	244	500	九州圏	450
	女性	47	57	45	56	51	256			
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150		
	女性	14	16	14	18	15	77			
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150		
	女性	13	15	14	18	16	76			
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150		
	女性	13	15	14	19	16	77			
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300		
	女性	30	32	28	36	29	155			
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150		
	女性	14	15	16	17	15	77			

(実数)

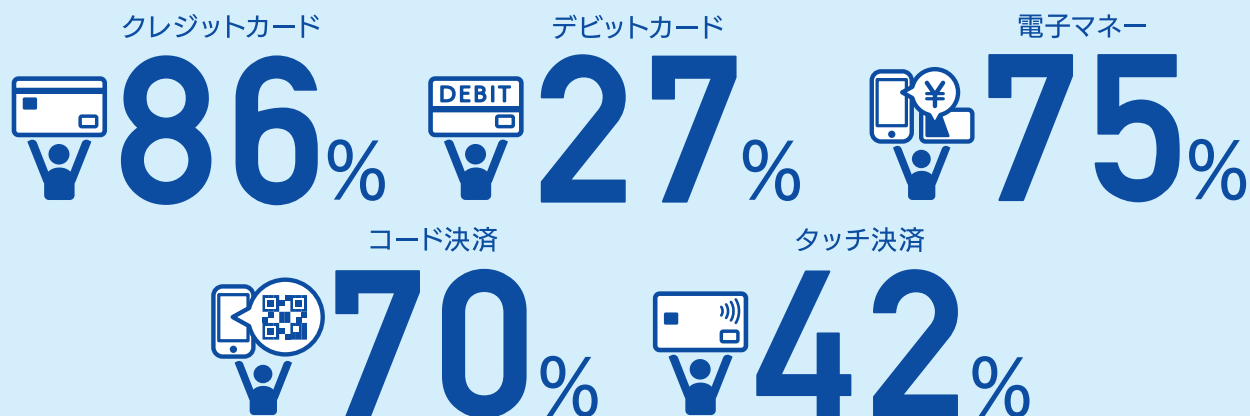
- 集計方法 : ウェイトバック集計(回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)  
各サンプルに、母集団<※>と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を  
掛け合わせて集計サンプルを算出  
<※>2020年国勢調査確定値を利用

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	京都・大阪 ・兵庫	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	2,419,768	2,492,572	1,760,150	21,086,738	2,044,101	3,636,231	2,286,476	8,901,425	1,183,358	2,251,293	915,147	2,262,325	2,670,389	53,909,973
母集団比率	4.49%	4.62%	3.26%	39.11%	3.79%	6.75%	4.24%	16.51%	2.20%	4.18%	1.70%	4.20%	4.95%	100%
回収数	292	152	152	903	151	300	150	500	150	150	150	300	150	3,500
回収比率	8.3%	4.3%	4.3%	25.8%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.538	1.065	0.752	1.516	0.879	0.787	0.99	1.156	0.512	0.974	0.396	0.49	1.156	
ウェイトバック後サンプル	157	162	114	1,369	133	236	148	578	77	146	59	147	173	3,500
ウェイトバック後比率	4.49%	4.62%	3.26%	39.11%	3.79%	6.75%	4.24%	16.51%	2.20%	4.18%	1.70%	4.20%	4.95%	100%

掛け合わせる

### 【 総 括 】

#### キャッシュレスの保有率は



ほとんどの業種でクレジットカードと現金の利用率が上位を占めるが、現金は減少、コード決済は増加している。



#### クレジットカード保有率は



#### 平均保有枚数は



#### 平均携帯枚数は



#### 1番利用するクレジットカードの 1ヶ月あたりの利用頻度は



#### 1ヶ月あたりの利用金額は



#### 1番多く利用するクレジットカードの 主な利用理由は

ポイントやマイルが貯めやすいから



入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)



## II. 結果の概要

### 【 総 括 】

クレジットカード決済が  
多い業種は

スーパーマーケット



41%

オンラインショッピング



40%

※「オンラインショッピング」は昨年度から「オンラインショッピング（フリマサイト）」も含めて聴取している。  
※クレジットカードで決済した業種は、利用期間を昨年までは3ヶ月以内で聴取していたが、今年から1年以内に変更している。

クレジットカードの保有率に変わらない中、  
生活費に占める  
クレジットカードの利用割合の平均は

42%<sup>※</sup>と上昇している。

※各世帯ごとの利用割合を平均した算出方法の場合

クレジットカード保有者の  
世帯あたりの月平均生活費は

17.4万円

そのうち、世帯あたりの

月平均クレジットカード利用額は

7.3万円

デビットカードの保有率は



27%

男性20代、40～50代、女性50～60代の保有率上昇 ↗

利用率は



13%

男性20代、40～50代、女性50～60代の利用率上昇 ↗

電子マネーの保有率は



75%

利用率は



71%

コード決済の保有率は



70% 2020年から  
上昇傾向

利用率は



66% 2020年から  
上昇傾向

※2020年はスマホ決済で聴取していたが、昨年からコード決済として聴取した。

※コード決済：スマートフォンやタブレットでQRコード・バーコードを読み取りして支払いするサービス（auペイ、d払い、LINE Pay、PayPay、メルペイ、楽天ペイ等）

# 1. キャッシュレスの利用状況

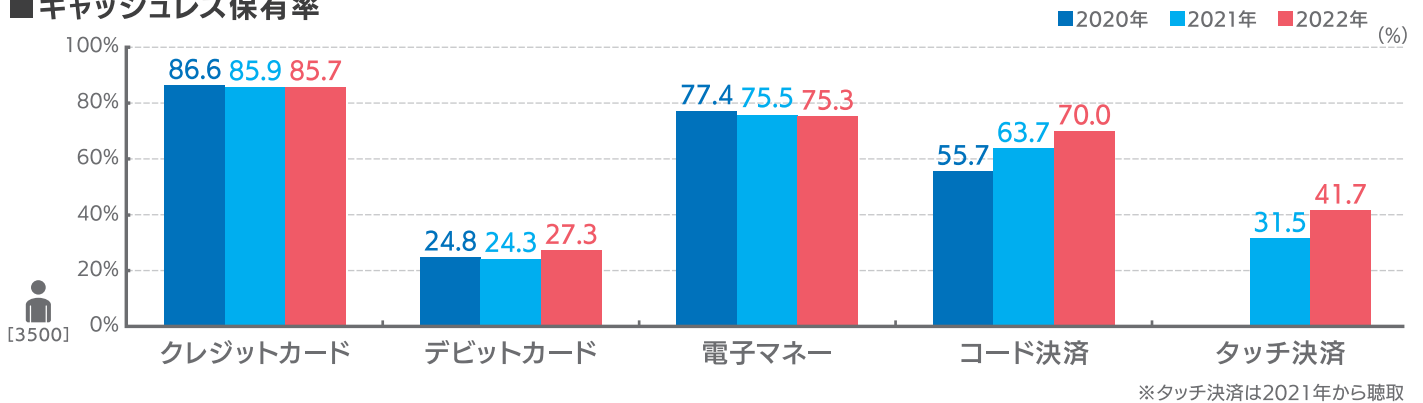


※タッチ決済: クレジットカードの国際ブランドが展開している非接触型の決済のことで、クレジットカードを対応端末にタッチするだけで支払いできる決済方法

キャッシュレスの保有率はクレジットカードが85.7%、デビットカードが27.3%、電子マネーが75.3%、コード決済が70.0%、タッチ決済が41.7%。

・キャッシュレスの保有率は、それぞれクレジットカードが85.7%、デビットカードが27.3%、電子マネーが75.3%、コード決済が70.0%、タッチ決済が41.7%であった。コード決済は2020年から、タッチ決済は昨年から上昇傾向がみられる。

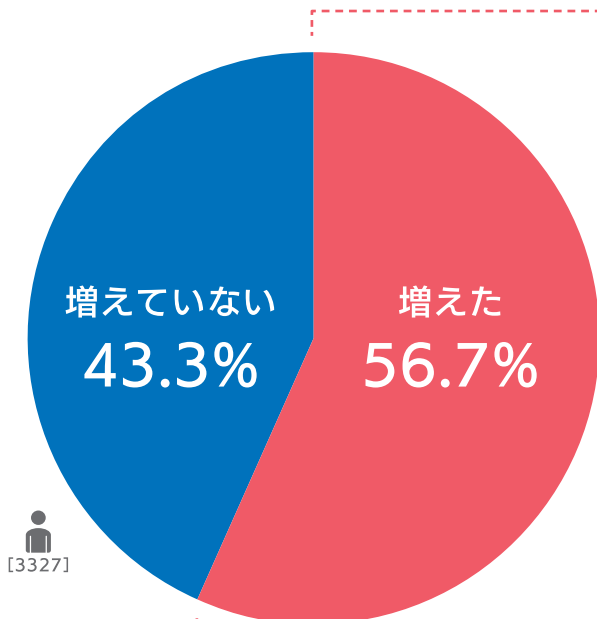
## ■キャッシュレス保有率



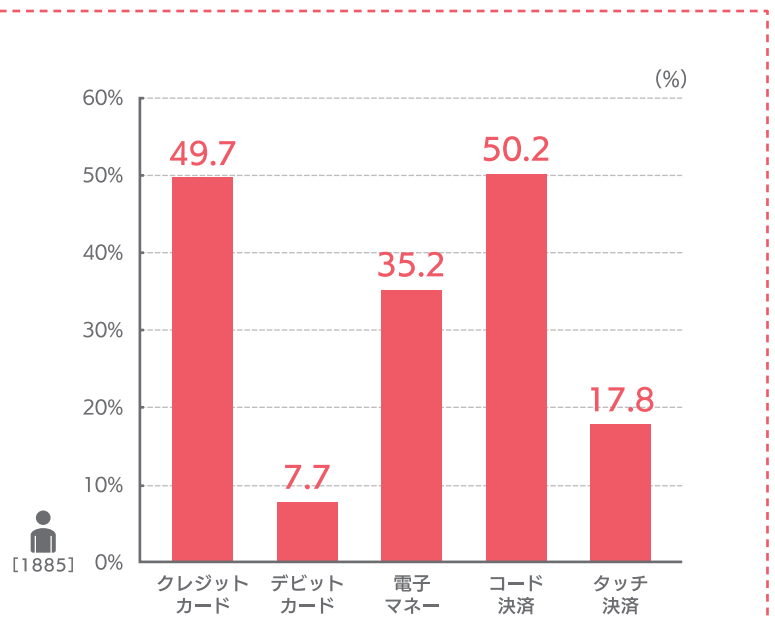
1年前と比べて「キャッシュレスの利用が増えた」と回答した方は56.7%。また、利用が増加したキャッシュレスのうち、コード決済がクレジットカードを抜いて最も高く50.2%。

・1年前と比べて「キャッシュレスの利用が増えた」と回答した方は56.7%。  
・1年前と比べて利用が増加した決済手段は、コード決済が50.2%と最も高く、クレジットカードが49.7%、電子マネーが35.2%と続く。(昨年はクレジットカードが55.0%、コード決済が47.5%とクレジットカードが最も高かった)

## ■キャッシュレス利用増加状況 (キャッシュレス利用者)



## ■利用増加キャッシュレス (キャッシュレス利用増加者)



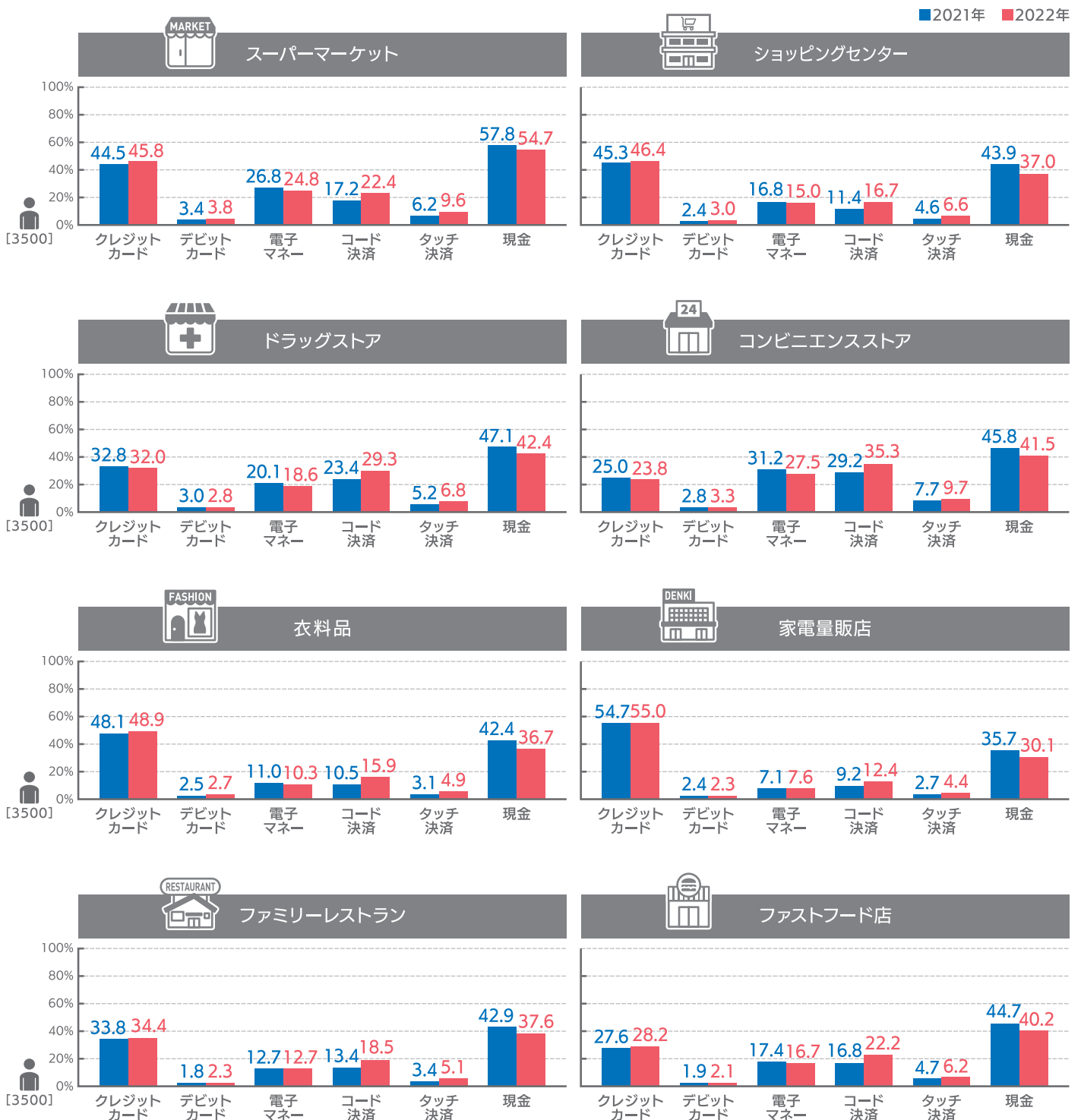
# 1. キャッシュレスの利用状況



どの業種もクレジットカードと現金の利用率が上位を占めるが、現金は減少、コード決済は増加している。また、クレジットカード、タッチ決済も多くの業種で微増。

- ・多くの業種でクレジットカード、現金の利用率が上位を占める。
  - ・いずれの業種でも現金の利用率が減少し、コード決済の利用率が増加している。
- ※決済手段は、現金と主なキャッシュレスを抜粋  
 ※利用業種は、各決済手段の利用率の平均が高いものから8種抜粋

## ■業種ごとの決済手段利用率



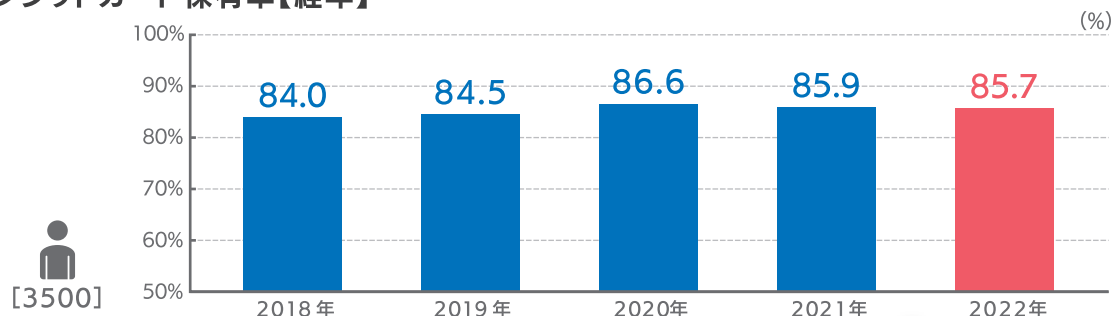
## 2. クレジットカード保有率



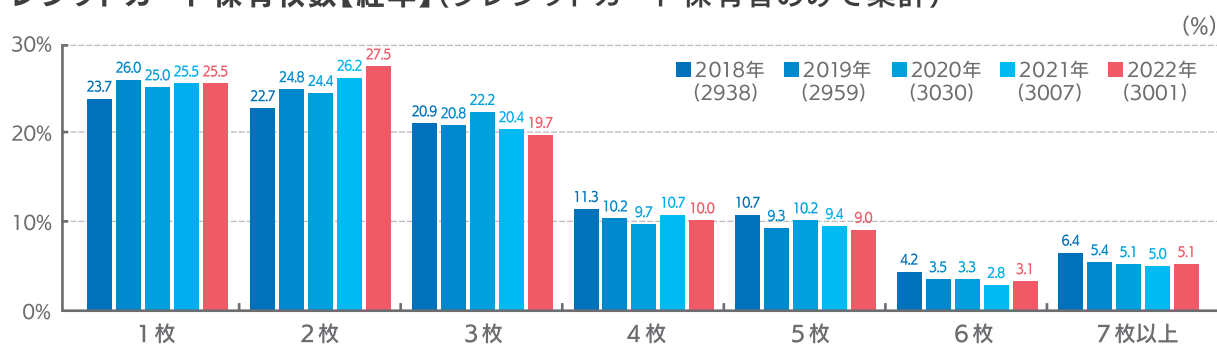
クレジットカードの保有率は昨年と同程度。依然として85.7%と高い。

- ・クレジットカード保有率は85.7%で、昨年と同程度。
- ・保有枚数は昨年と比べて枚数ごとに変化はみられない。

### ■クレジットカード保有率【経年】



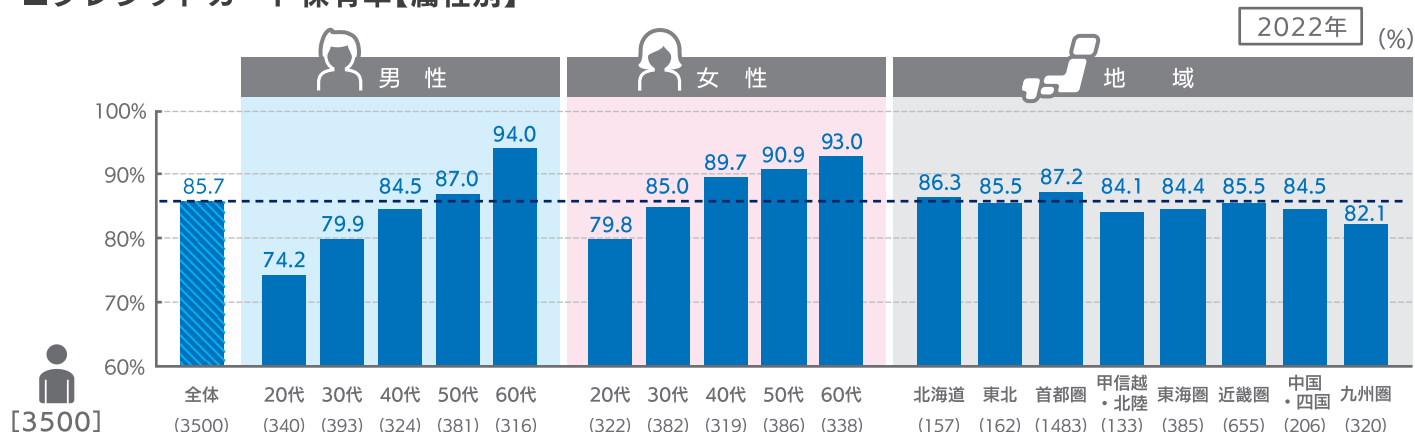
### クレジットカード保有枚数【経年】(クレジットカード保有者のみで集計)



60代を除き、女性のクレジットカード保有率は男性より高い傾向。

- ・全体的に女性のクレジットカードの保有率は男性より高い傾向がみられる。男性は60代のみ保有率が9割を超えるが、女性は50～60代の保有率が9割を超える。
- ・20代の保有率は男性が74.2%、女性が79.8%と他の年代より低い。地域別では、首都圏の保有率が87.2%と最も高く、九州圏が82.1%で最も低い。

### ■クレジットカード保有率【属性別】





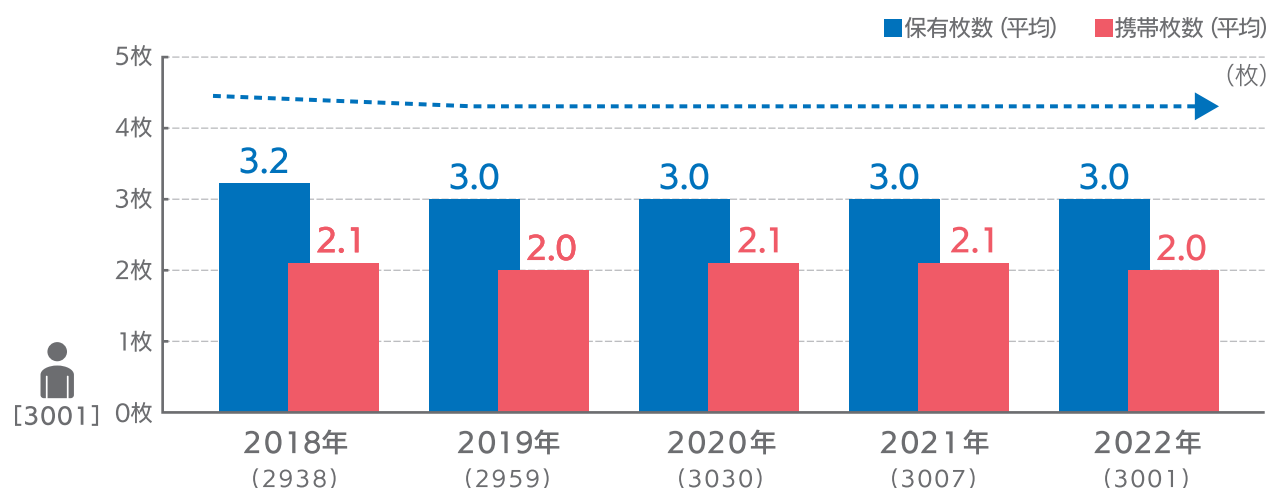
### 3. クレジットカード保有・携帯枚数



前年同様、平均保有枚数は3.0枚、平均携帯枚数は2.0枚。

- ・前年同様、クレジットカードは平均3.0枚保有されている。
- ・携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は、保有枚数と同様に前年から大きく変わらず平均2.0枚。

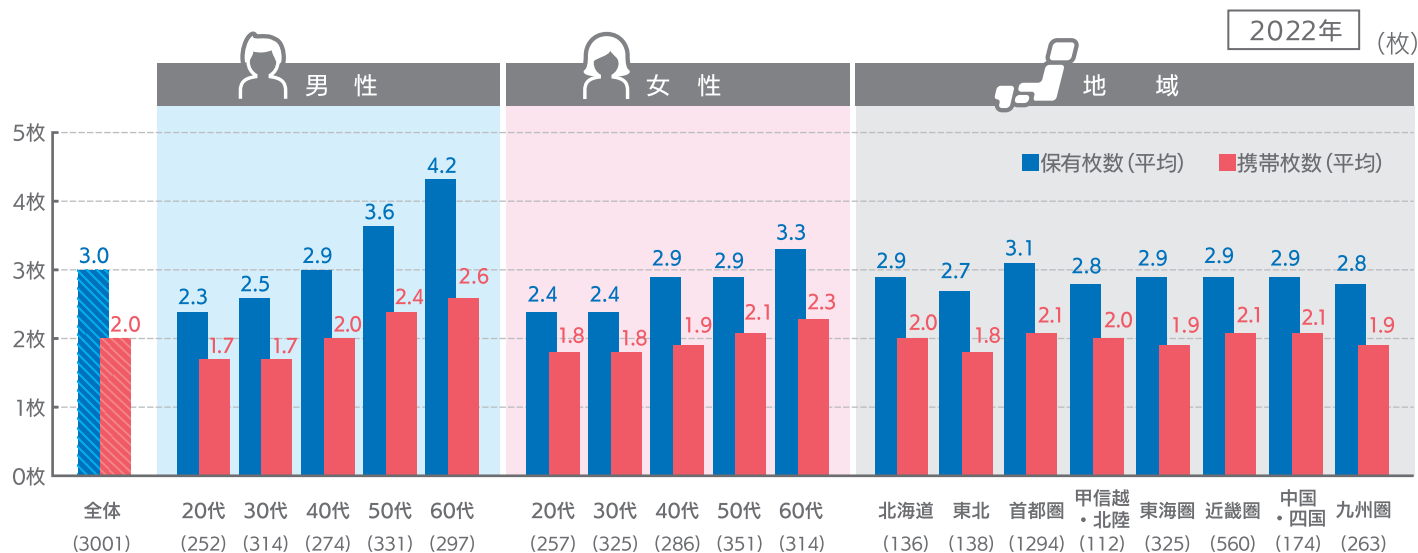
#### ■クレジットカード平均保有枚数/携帯枚数(クレジットカード保有者)【経年】



平均保有枚数は男性60代が多い。  
平均携帯枚数は50～60代で男性が女性より0.3枚多い。

- ・保有枚数は女性より男性が多い傾向がみられる。年齢が上がるほど保有枚数は多くなり、特に男性60代の保有枚数が4.2枚と多い。一方で、男性20～40代、女性20～50代は3枚に満たない。地域別で3枚を上回るのは、首都圏のみであった。
- ・携帯枚数は50～60代で男性が女性より0.3枚多い。
- ・男性20～30代、女性20～40代が全体より少なく、2枚に満たない。地域別では、東北、東海圏、九州圏が2枚に満たない。

#### ■クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】



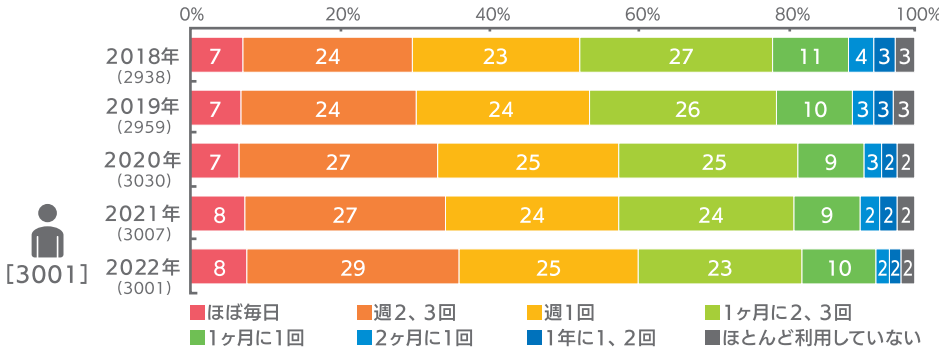
# 4. クレジットカード利用頻度



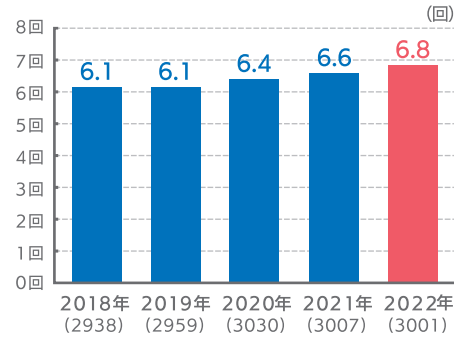
## 「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は6.8回と2018年から継続して上昇している。

- ・「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は6.8回で、2018年から継続して上昇している。
- ・「2番目に多く使う」カードは3.2回と昨年から微増。

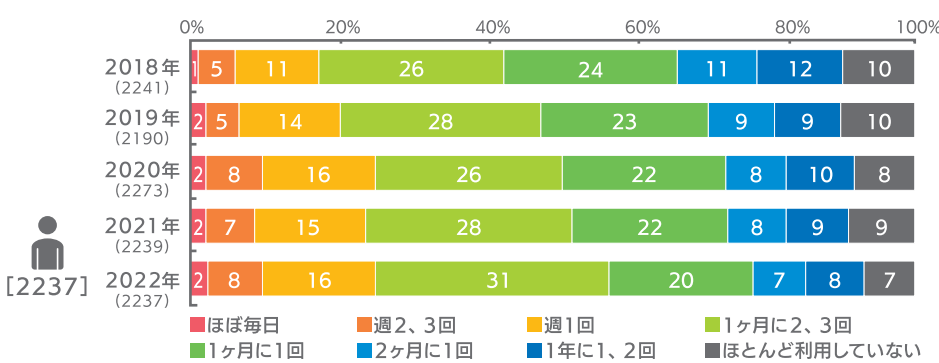
### 【1番多く使うカード(クレジットカード保有者)】



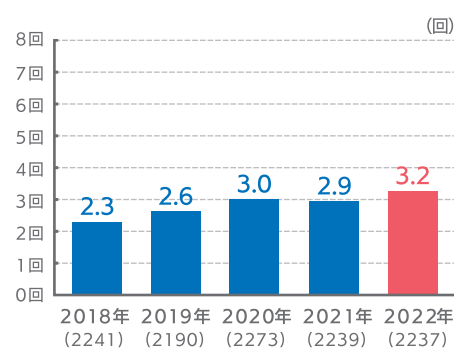
### 《月平均》



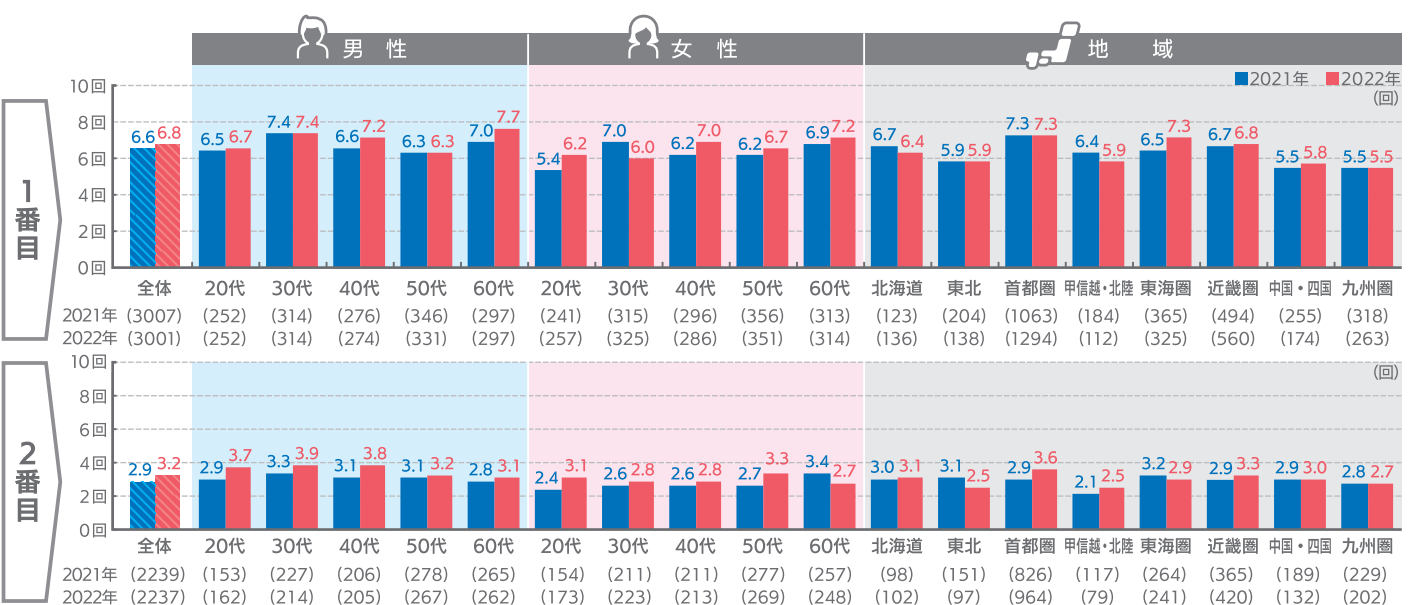
### 【2番目に多く使うカード(2枚以上クレジットカード保有者)】



### 《月平均》



### ■1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



※利用頻度の定義:本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

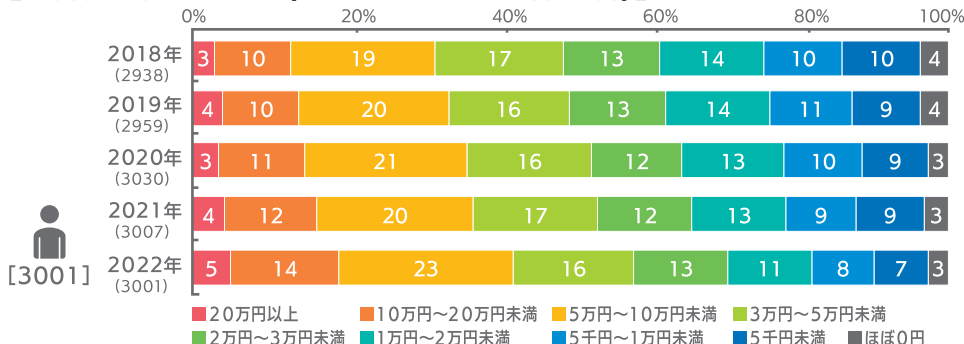
# 5. クレジットカード利用金額



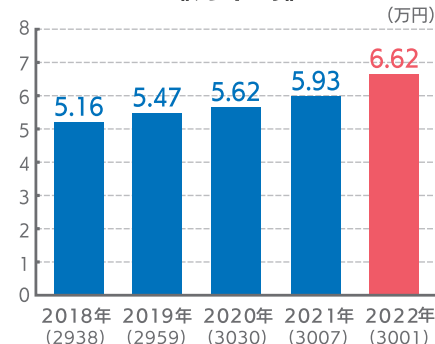
## 「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は6.6万円。1番目、2番目ともに継続して上昇。

- ・「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は6.62万円、「2番目に多く使う」クレジットカードは2.46万円とともに継続して上昇。
- ・男性60代は昨年から約2万円と大きく上昇している。
- ・生活費が下がっている(p20)中でもクレジットカードの利用頻度と利用金額は上昇傾向にあるが、保有率は変化がないことから、保有者の利用が増えていると考えられる。

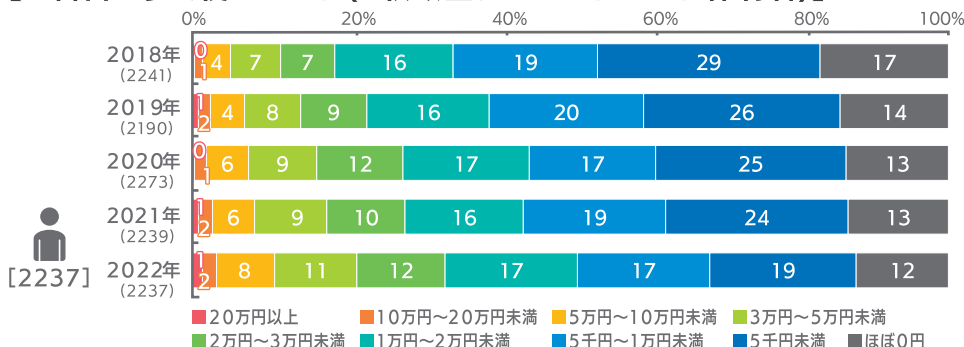
### 【1番多く使うカード(クレジットカード保有者)】



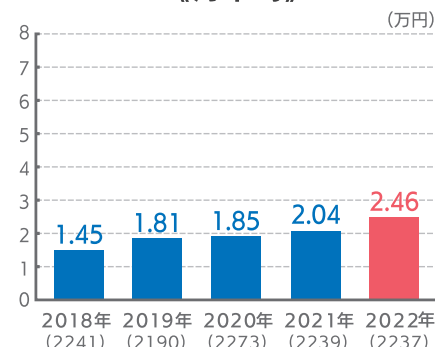
### 《月平均》



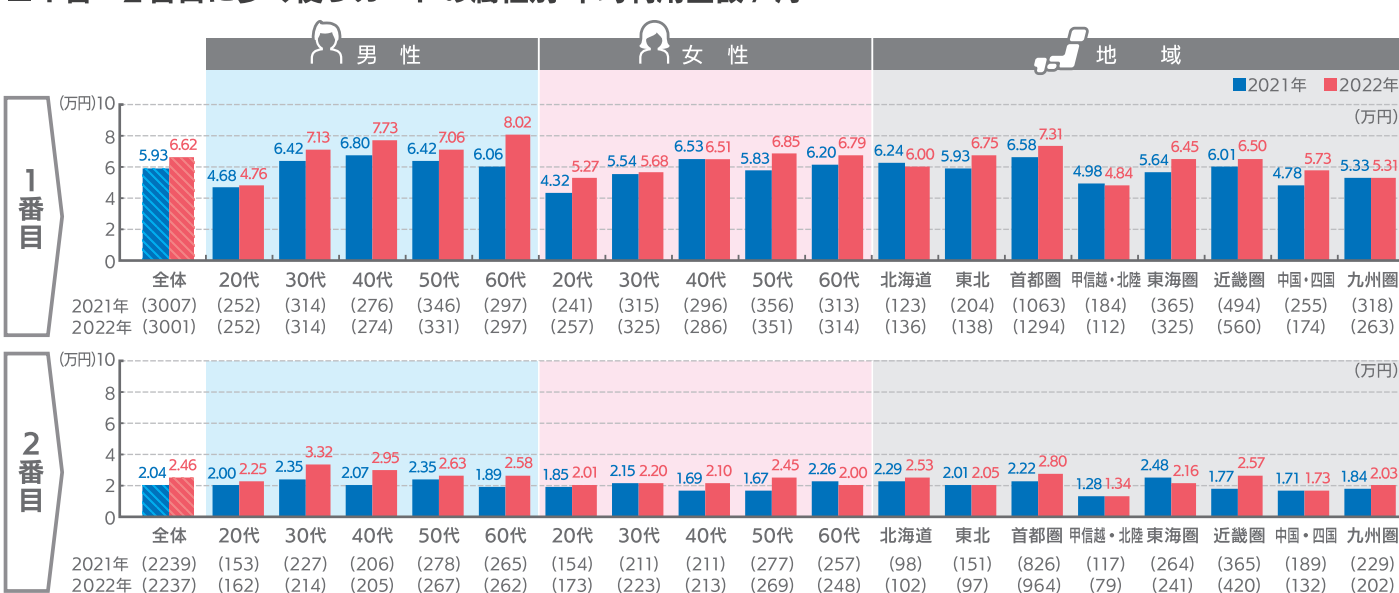
### 【2番目に多く使うカード(2枚以上クレジットカード保有者)】



### 《月平均》



### ■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額 / 月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

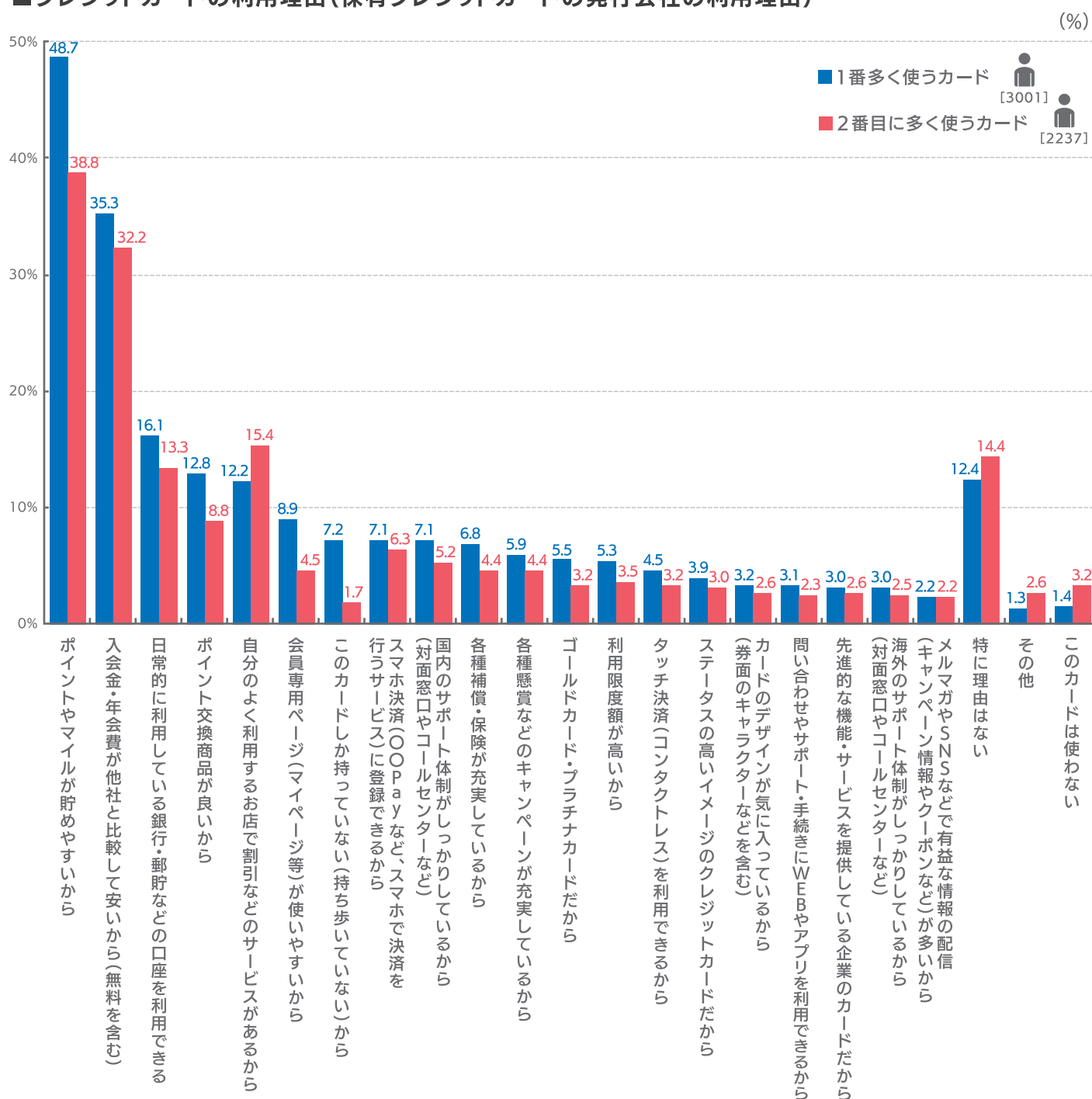
## 6. 保有クレジットカードの利用理由



### 1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」と、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」。

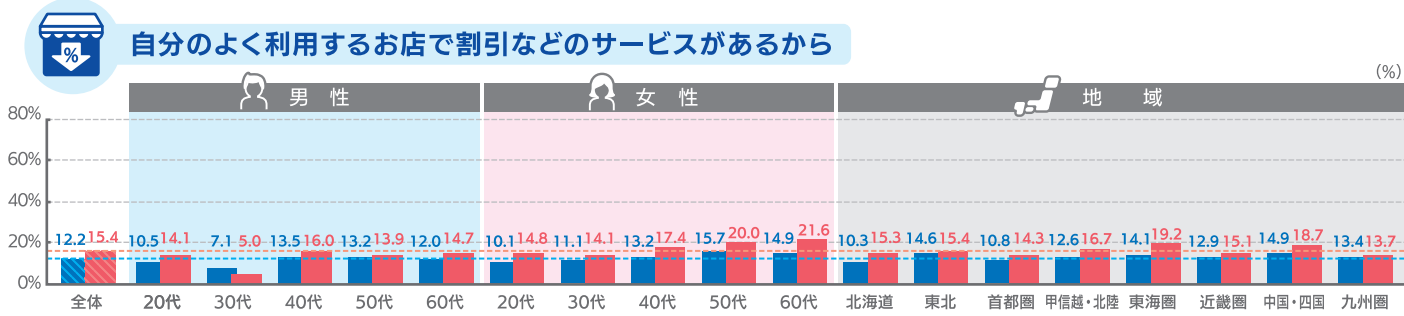
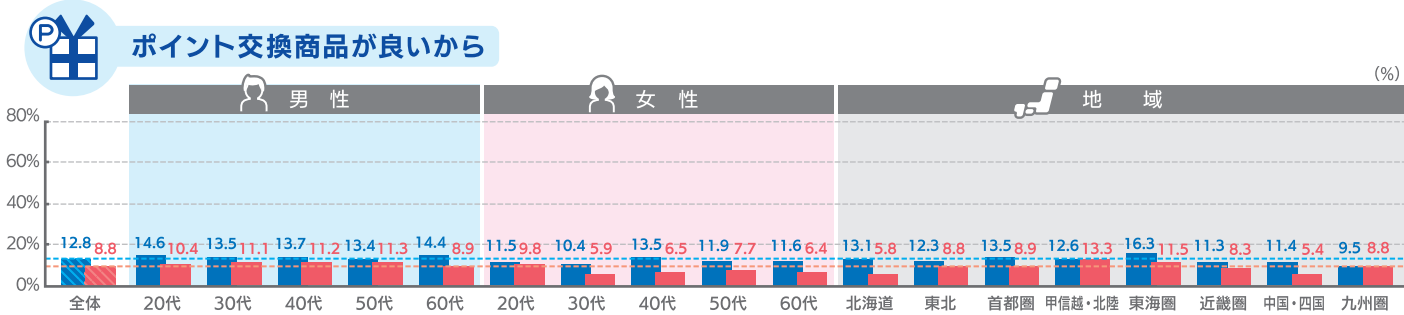
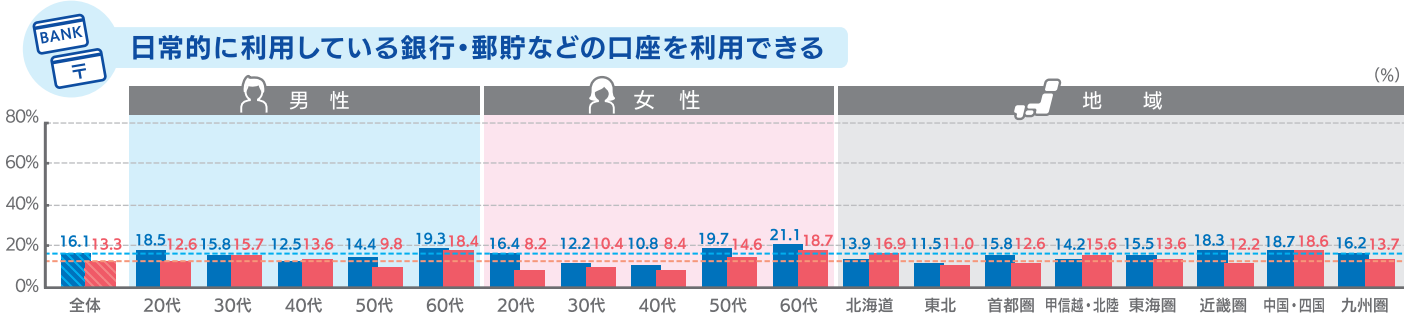
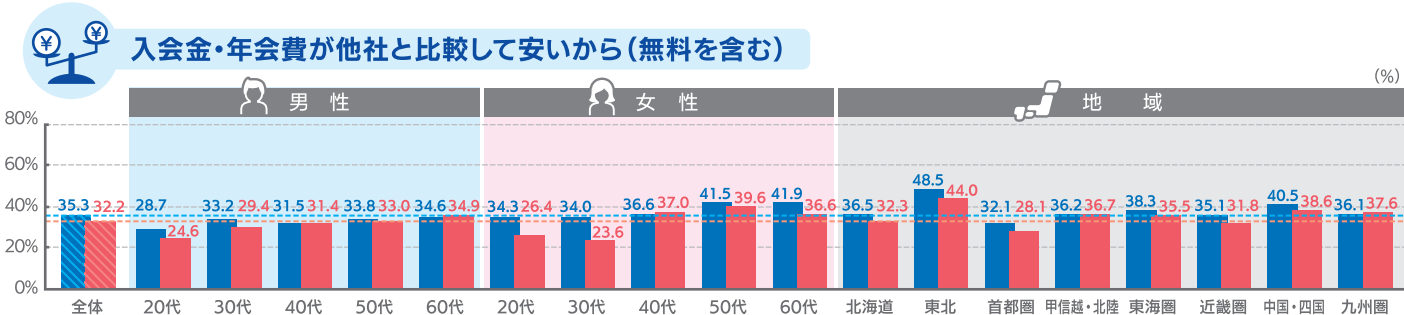
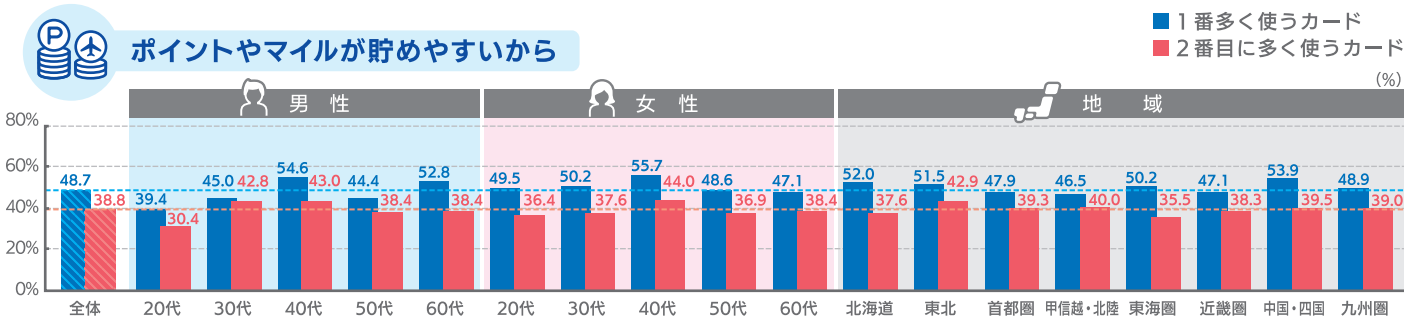
- ・1番多く使うクレジットカードの利用理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから(48.7%)」が高い。「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(35.3%)」が続く。
- ・2番目に多く使うカードも同様、「ポイントやマイルが貯めやすいから(38.8%)」が最も高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(32.2%)」が続く。また、「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから(15.4%)」は、唯一1番多く使うカード(12.2%)を上回る。
- ・2番目に多く使うカードは「ポイントやマイルが貯めやすいから」は、昨年から2.3pt上昇しており、サブカードにも利得性を求める傾向が見られる。

#### ■クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)



「ポイントやマイルが貯めやすいから」の割合は、男性40代、60代、女性30～40代が5割を超え高く、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)」は女性50～60代が4割を超える。

■クレジットカードの利用理由(保有クレジットカードの発行会社の利用理由)【属性別】上位5項目



1枚目 (3001) (252) (314) (274) (331) (297) (257) (325) (286) (351) (314) (136) (138) (1294) (112) (325) (560) (174) (263)  
 2枚目 (2237) (162) (214) (205) (267) (262) (173) (223) (213) (269) (248) (102) (97) (964) (79) (241) (420) (132) (202)

## 7. クレジットカード利用業種

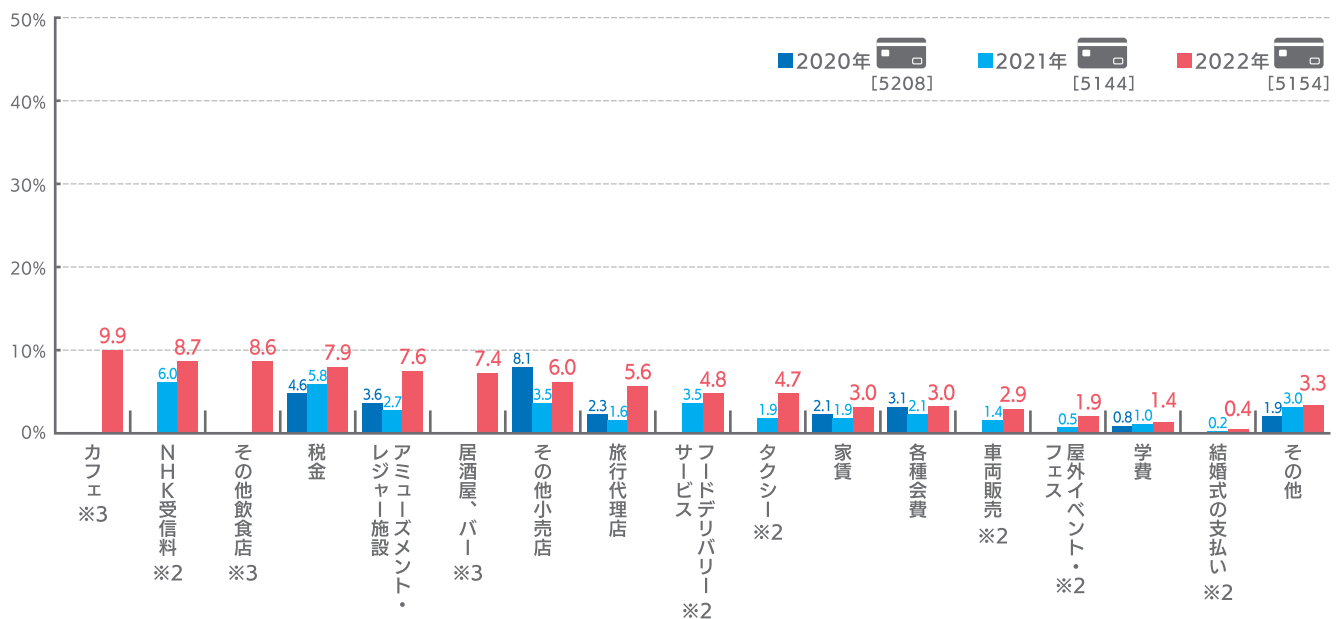
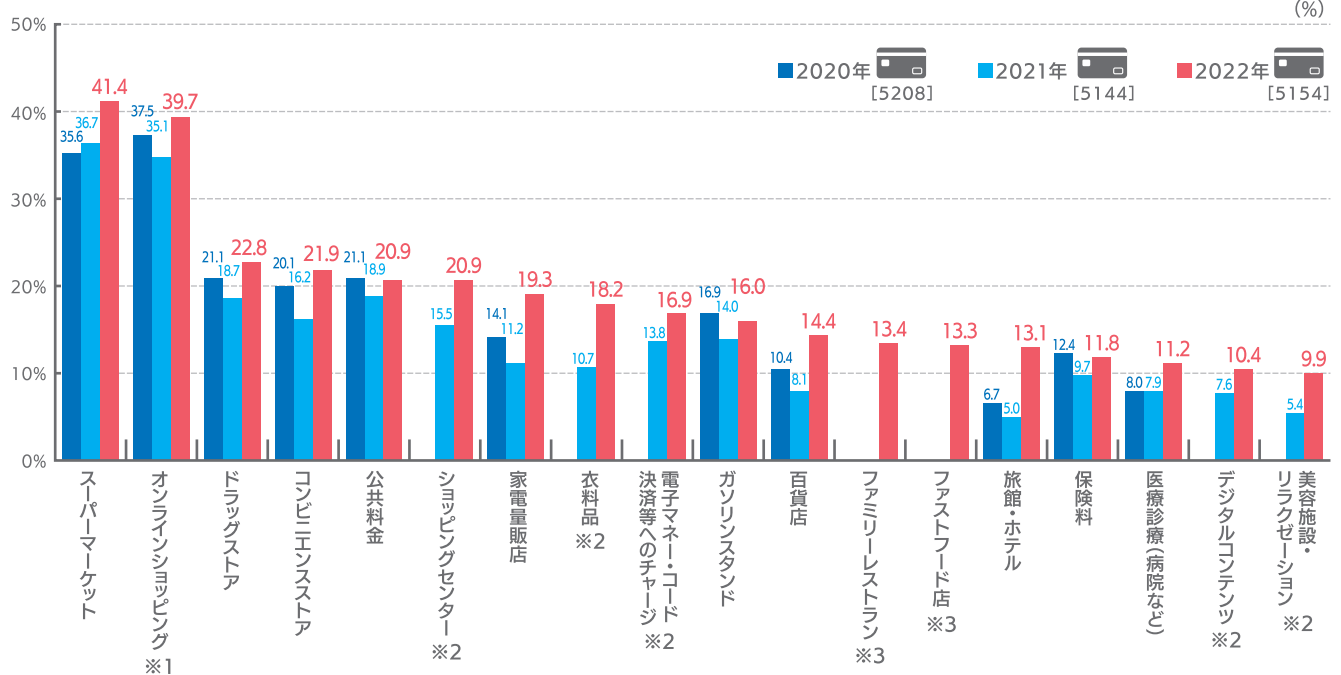


### カード利用が多い業種は「スーパーマーケット」、「オンラインショッピング」。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「スーパーマーケット(41.4%)」が最も高い。次いで「オンラインショッピング(39.7%)」、「ドラッグストア(22.8%)」が続く。
- ・昨年まで支払いをした期間を3ヶ月以内で聴取していたのを今年から1年以内に延ばしたこと、また利用頻度、利用金額が増加していることもあり、多くの業種でクレジットカードの支払いが昨年から増加している。

#### ■過去1年以内に、クレジットカードで支払いをした業種【経年】(クレジットカード枚数(2枚目まで))

※2020年、2021年は「過去3か月以内」の利用で聴取



選択肢変更について(※1~※2)

※1:2020年まで「オンラインショッピング(フリマサイト)」と「オンラインショッピング(フリマサイト以外のインターネット通販)」をわけて聴取

※2:2021年から選択肢を追加

※3:2022年から選択肢を追加

※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

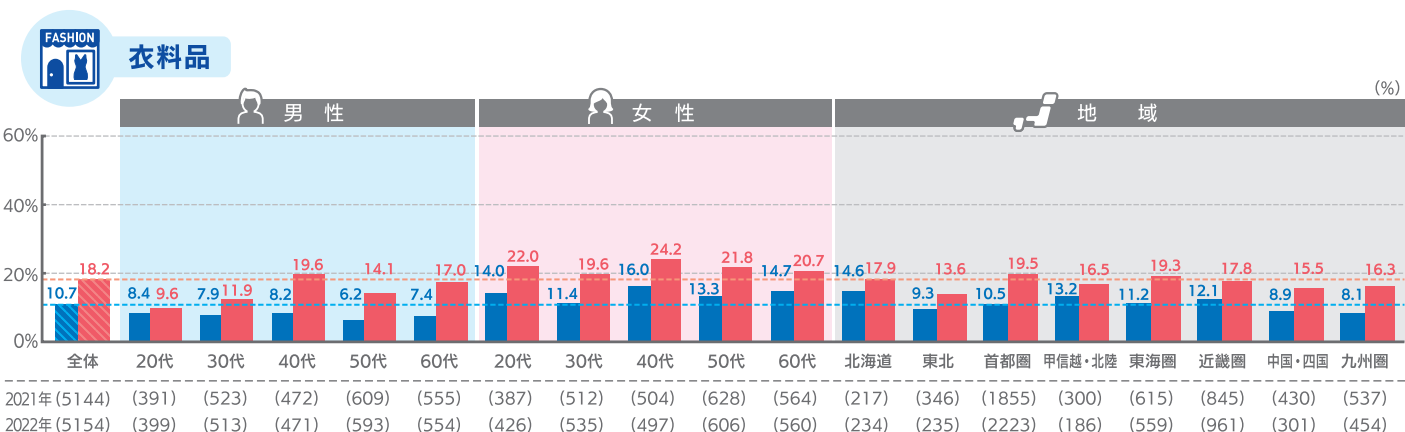
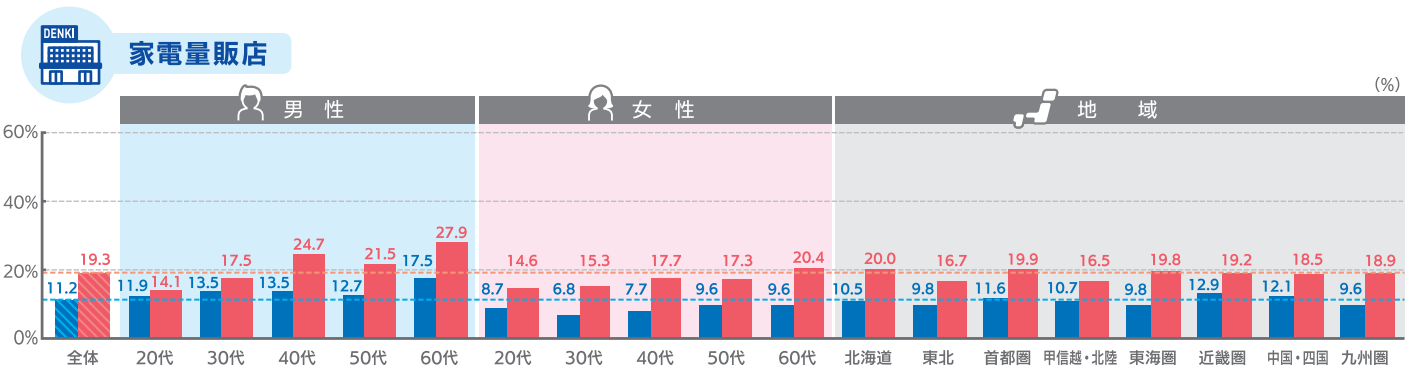
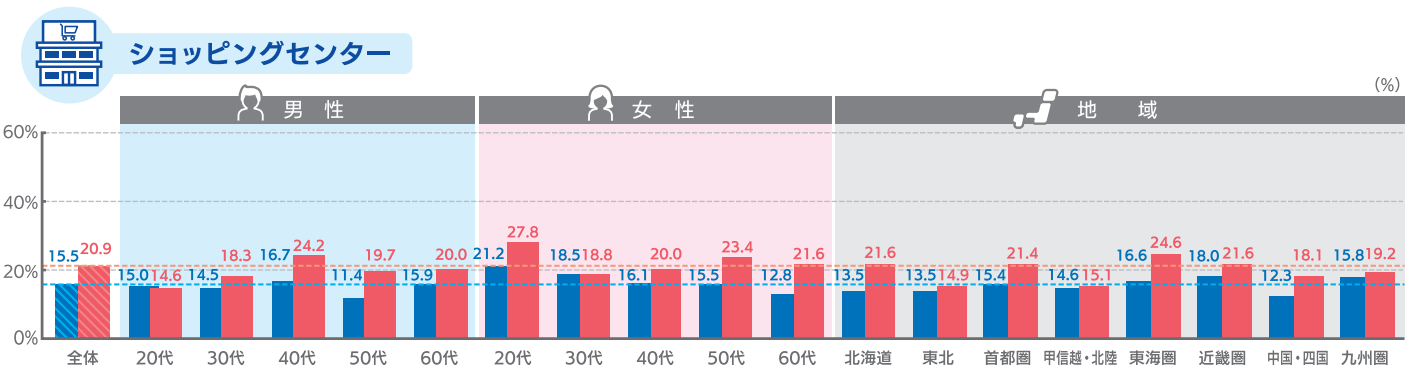
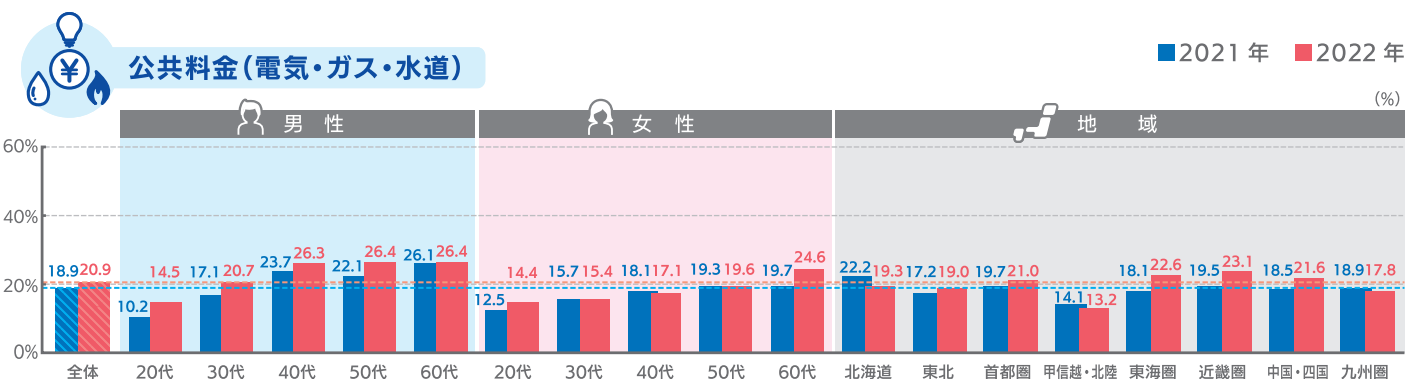
「スーパーマーケット」は男性30代、女性50～60代、東海圏の利用が高い。  
 「オンラインショッピング」は男性60代、女性50代、甲信越・北陸、中国・四国、九州圏の利用が高い。  
 「ドラッグストア」は男性40代、女性60代、東海圏の利用が高い。一方で、男性20代、50代は低い。  
 「コンビニエンスストア」は男性20～40代の利用が高く、女性50～60代は低い。

■過去1年以内に、クレジットカードで支払いをした業種【属性別】

※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。  
 ※2021年は「過去3か月以内」の利用で聴取



「公共料金」は女性より男性のほうが高い傾向がみられる。地域別では甲信越・北陸、九州圏の利用が低い。  
 「ショッピングセンター」は女性20代が最も高く、男性20代が最も低い。地域別では東海圏の利用が高い。  
 「家電量販店」は男性40代、60代の利用が高く、男性20代、女性20～30代が低い。  
 「衣料品」は男性より女性のほうが高い傾向がみられる。特に女性40代が高い。



2021年(5144) (391) (523) (472) (609) (555) (387) (512) (504) (628) (564) (217) (346) (1855) (300) (615) (845) (430) (537)  
 2022年(5154) (399) (513) (471) (593) (554) (426) (535) (497) (606) (560) (234) (235) (2223) (186) (559) (961) (301) (454)



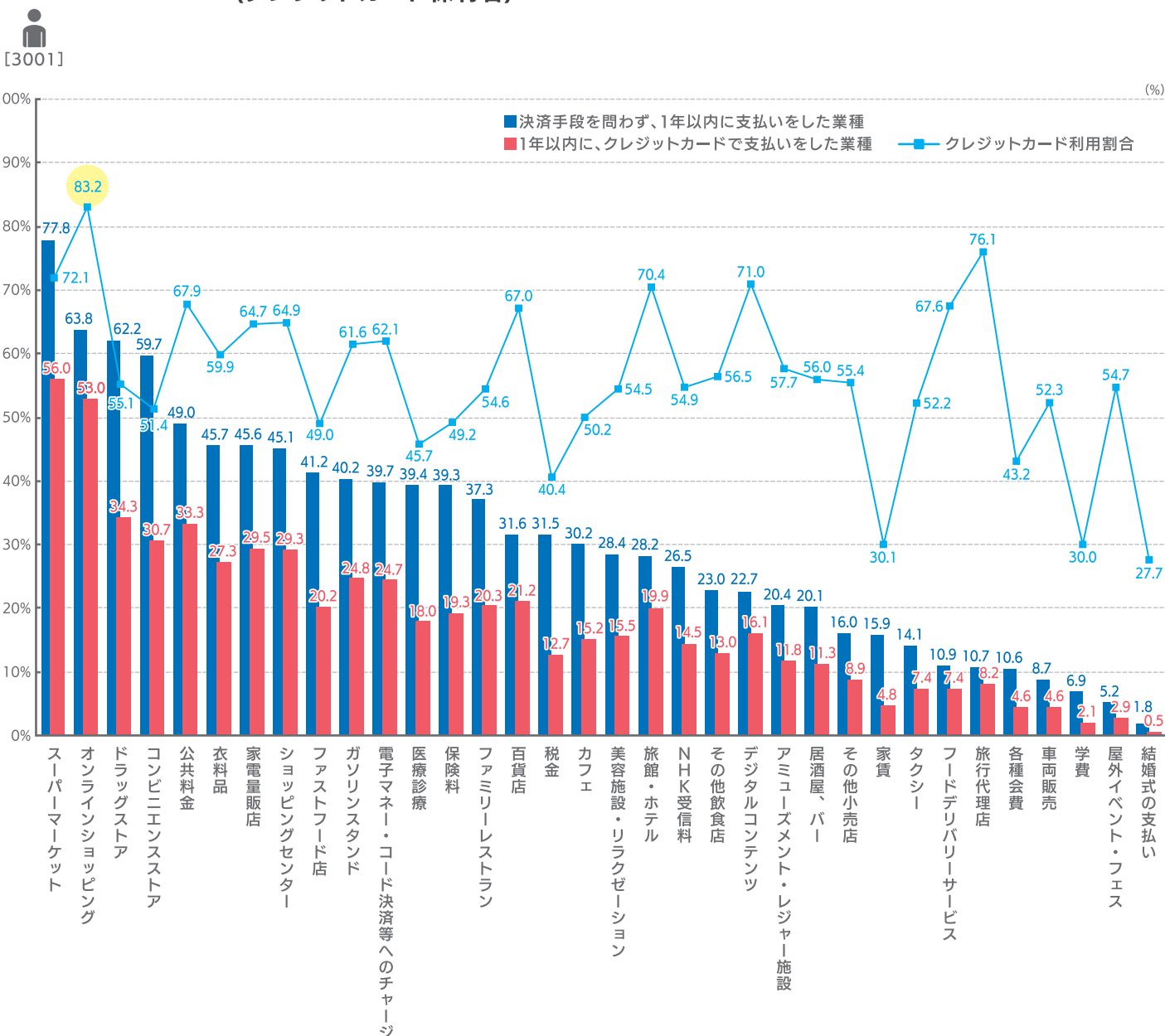
## 8. 支払いの際のクレジットカード利用割合



クレジットカード保有者の5割以上が、「スーパーマーケット」、  
「オンラインショッピング」の支払いでカードを利用している。  
「オンラインショッピング」では、  
支払いに占めるクレジットカード利用者の割合が8割を超える。

### ■支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、  
前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



・決済手段を問わず、1年以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず1年以内に支払いをした業種

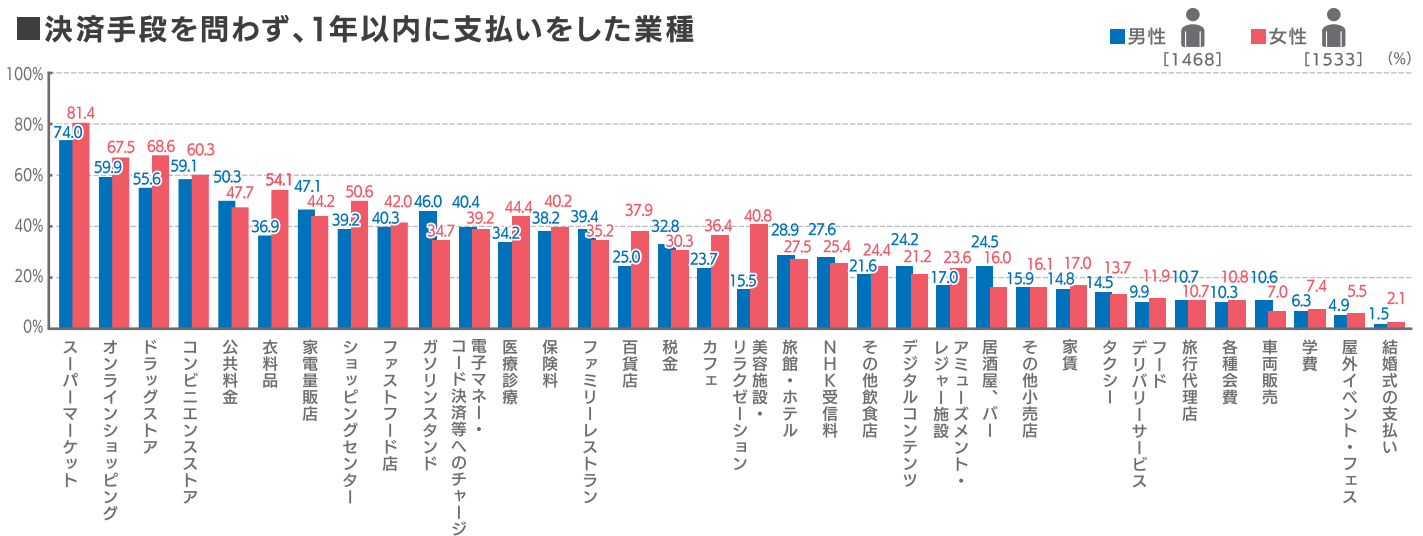
・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「1年以内にクレジットカードで利用した」が

「1年以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したものを。

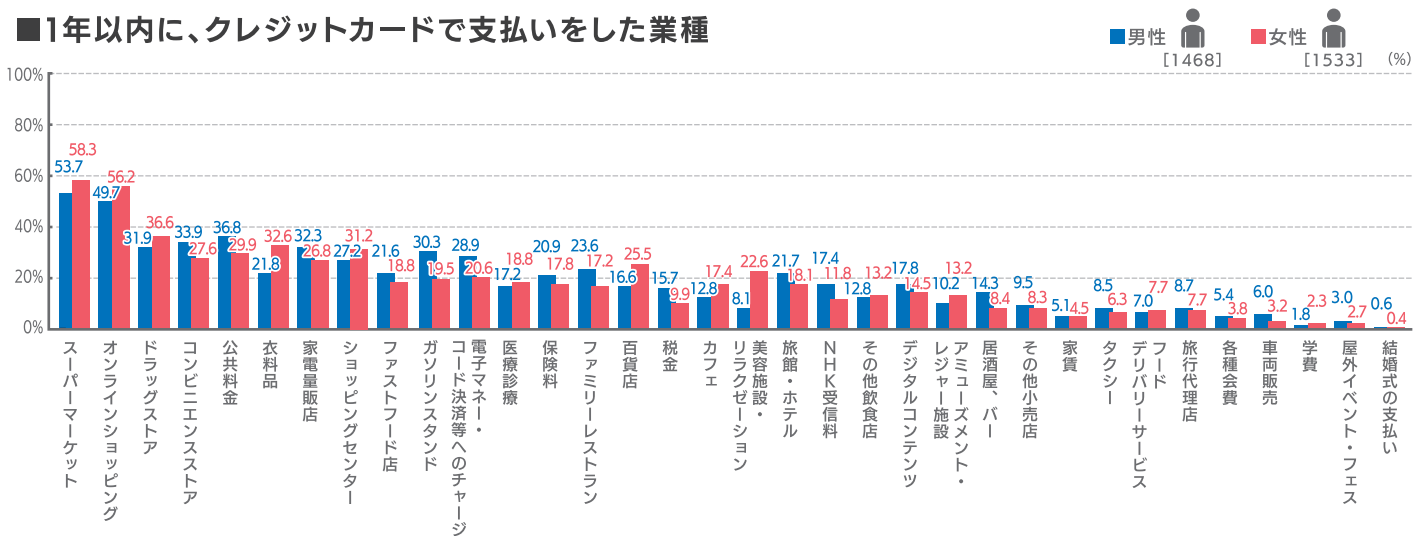
クレジットカード利用割合 = 【1年以内にクレジットカードで支払いをした業種】 ÷ 【決済手段を問わず、1年以内に支払いをした業種】

各業種のクレジットカード利用割合は、女性より男性のほうが高い傾向にある。「コンビニエンスストア」、「公共料金」、「電子マネー・コード決済等へのチャージ」、「保険料」、「ファミリーレストラン」、「税金」、「NHK受信料」、「タクシー」、「各種会費」、「車両販売」、「屋外イベント・フェス」、「結婚式の支払い」で10pt以上の差がみられた。

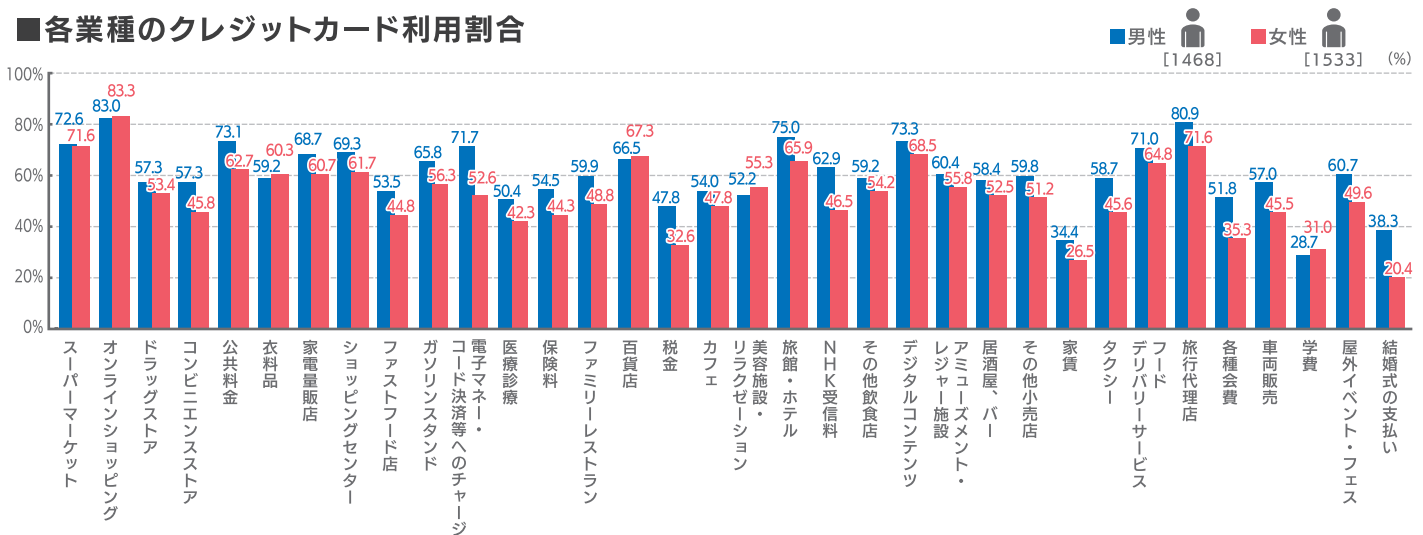
### ■決済手段を問わず、1年以内に支払いをした業種



### ■1年以内に、クレジットカードで支払いをした業種



### ■各業種のクレジットカード利用割合



## 9. 月平均生活費とクレジットカード利用額

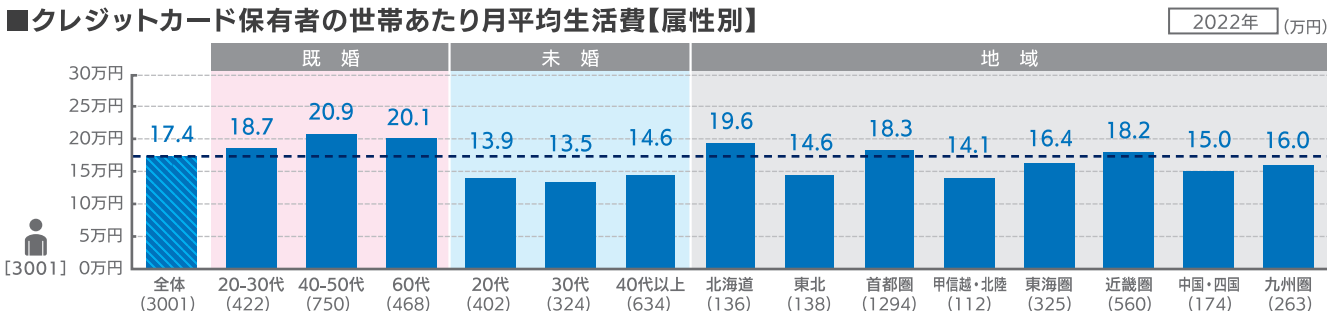


※生活費：食費・被服はき物・光熱・住居・遊興費など普通の生活に必要な消費支出のこと（住宅ローン・教育ローン・自動車ローンなどは除く）

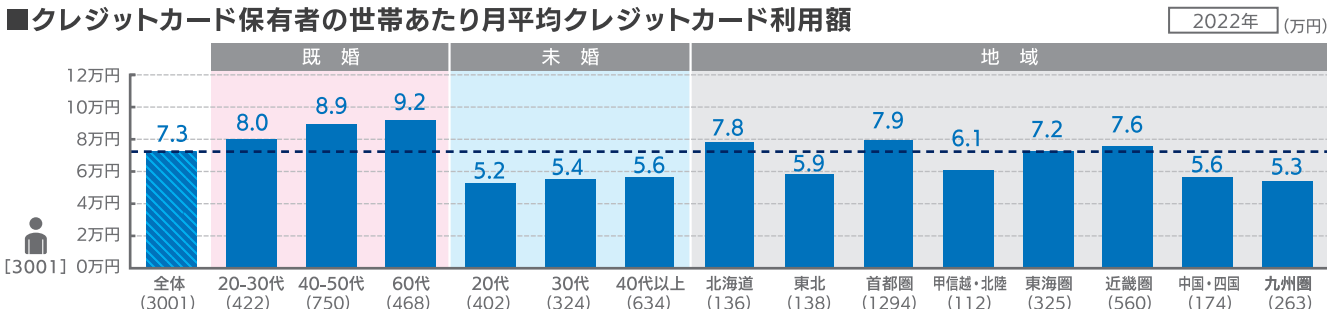
**クレジットカード保有者の世帯あたりの月平均生活費は17.4万円（昨年比-0.3万円）。そのうち平均7.3万円（昨年比+0.5万円）はクレジットカードで支払われている。**

- ・クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費は17.4万円（昨年比-0.3万円）。特に既婚世帯の40-60代の生活費が高い。地域別では、北海道が19.6万円でもっと高い。
- ・クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額は7.3万円（昨年比+0.5万円）。特に既婚世帯が高い。地域別では、首都圏のカード利用額が7.9万円でもっと高い。

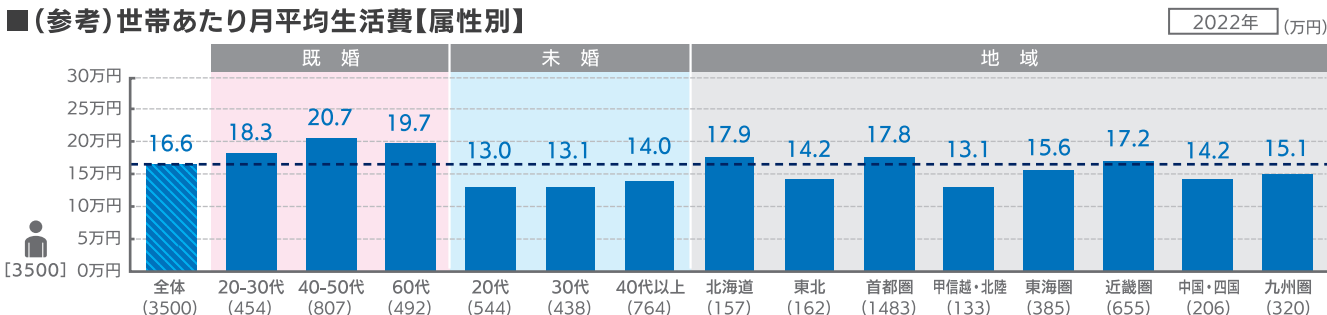
■クレジットカード保有者の世帯あたり月平均生活費【属性別】



■クレジットカード保有者の世帯あたり月平均クレジットカード利用額



■(参考)世帯あたり月平均生活費【属性別】

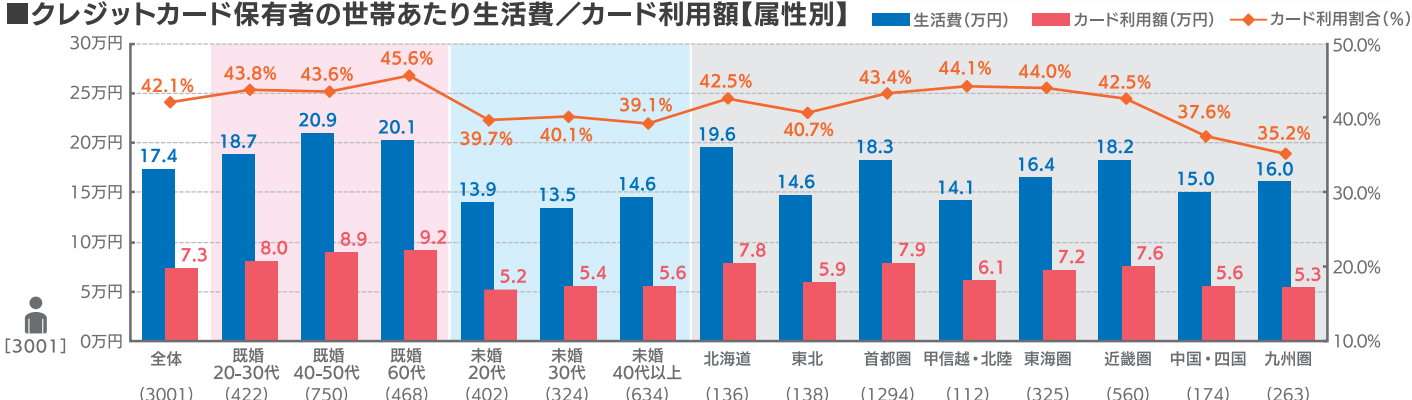


**クレジットカード保有者のクレジットカード利用割合は42.1%。**

- ・クレジットカード保有者の世帯あたり生活費に占めるクレジットカードの利用割合は42.1%。
- ・既婚世帯や首都圏、甲信越・北陸、東海圏でのカード利用割合が高い。
- ・昨年と比べると、既婚60代、未婚30代、東北、東海圏の利用割合が3pt以上上昇している。

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した。

■クレジットカード保有者の世帯あたり生活費/カード利用額【属性別】



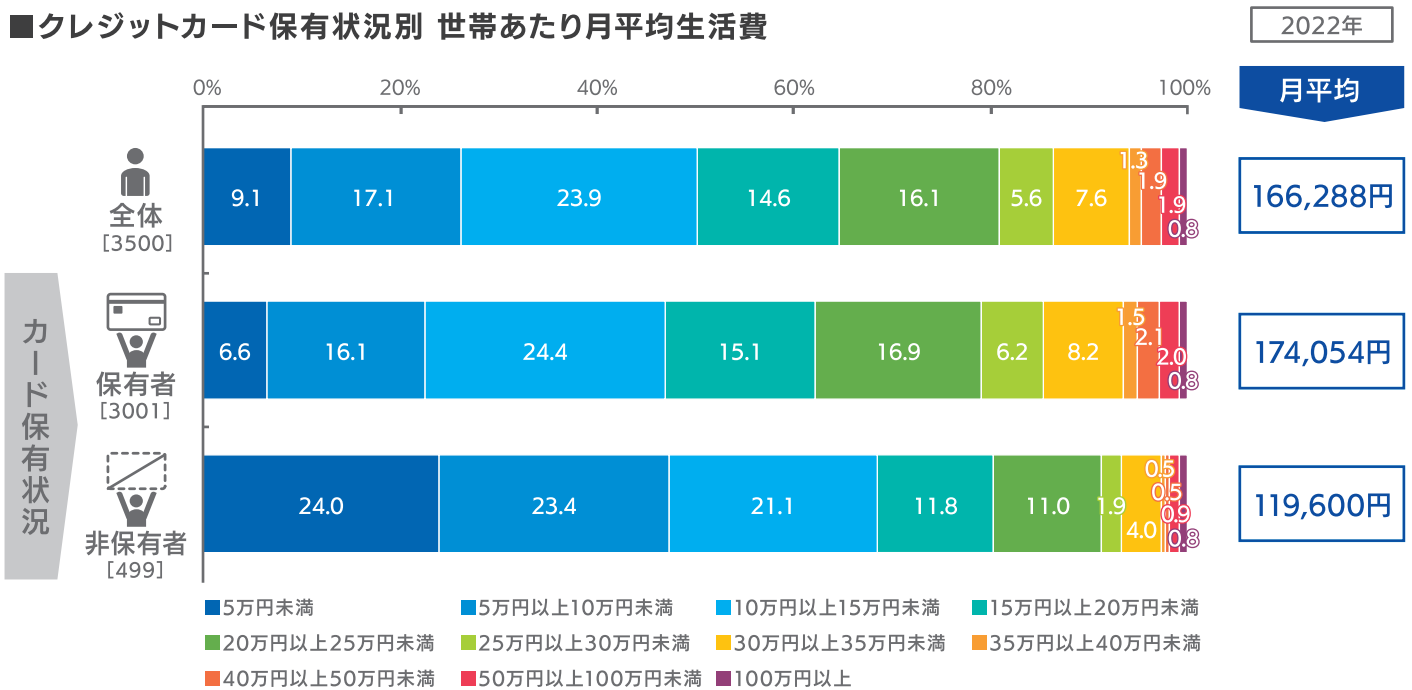
# 10. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況



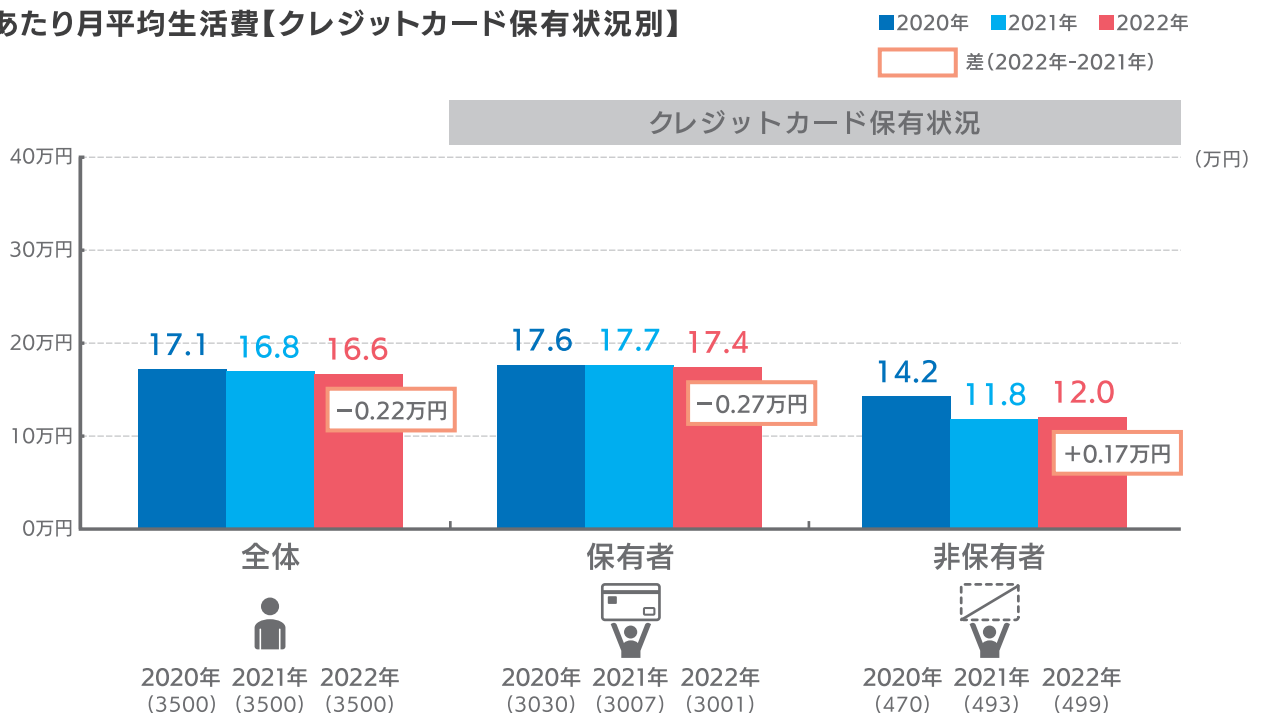
## クレジットカード保有者の月平均生活費は、非保有者の月平均生活費を5.4万円上回る。

- ・クレジットカードの保有・非保有別にみた月平均生活費では、保有者が月平均17.4万円で非保有者(11.9万円)を月5.4万円上回る。クレジットカードの保有状況と世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- ・世帯あたり月平均生活費は、昨年から2,200円の減少。クレジットカード保有者では2,700円減少、非保有者は1,700円増加した。クレジットカード保有者は、昨年より35万円以上の割合がわずかに減少したため月平均を下げている。一方で、非保有者は35万円以上の割合がわずかに増加しているため月平均を上げている。

### ■クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



### ■世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】



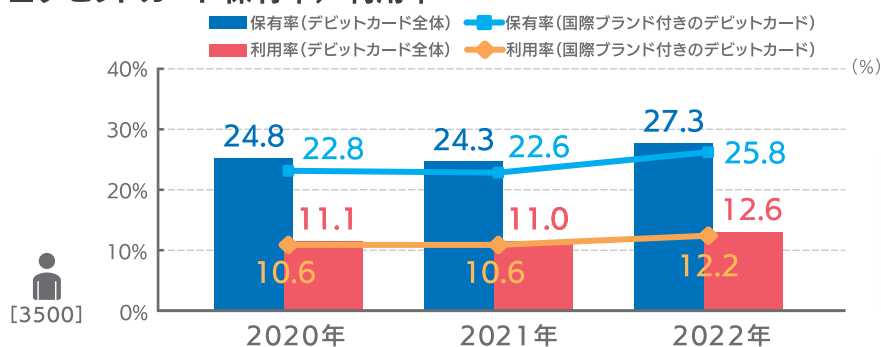


# 11. デビットカードの利用状況

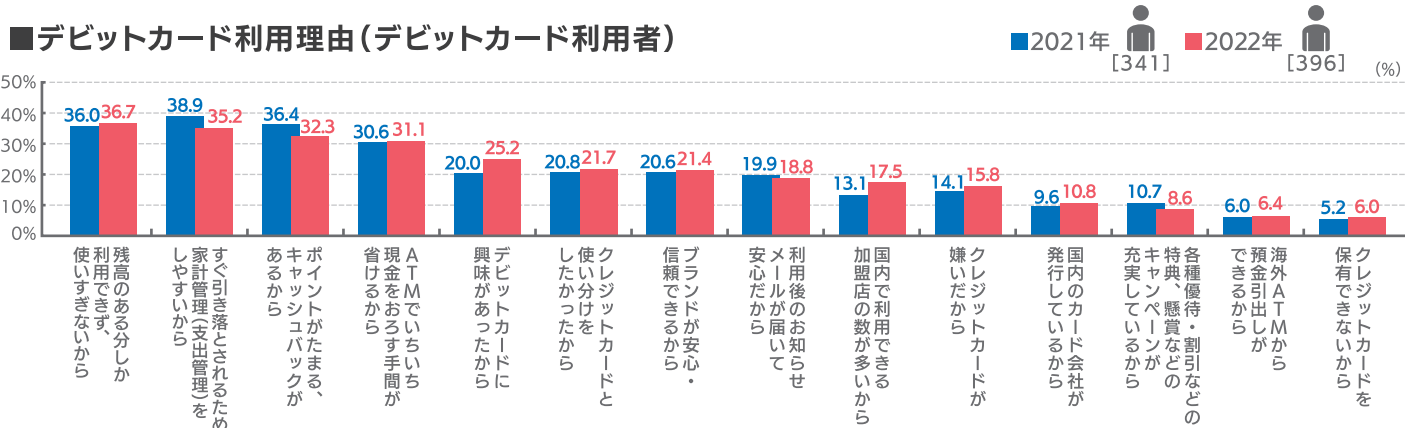
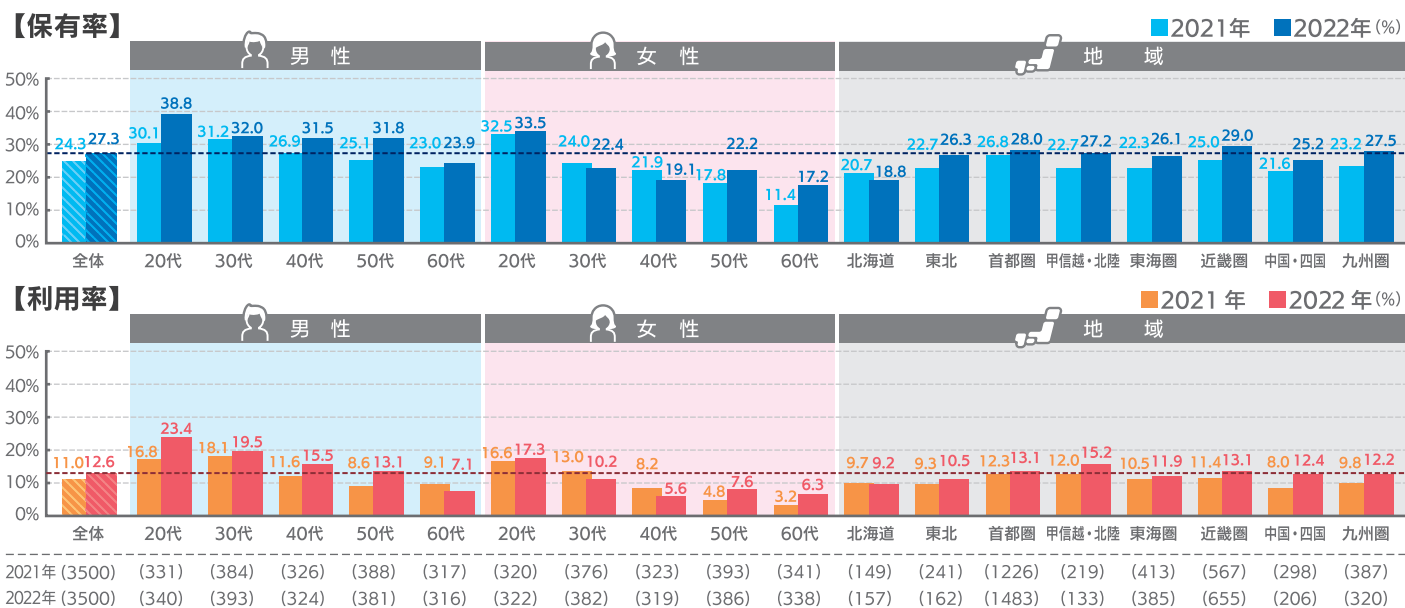
デビットカードの保有率は27.3%、利用率は12.6%と昨年から微増。男性20代、40~50代、女性50~60代は保有率、利用率ともに上昇している。保有率、利用率ともに高いのは20代であった。主な利用理由は「残高のある分しか利用できず、使いすぎないから」。

- デビットカードの保有率は27.3%で昨年から微増。男性20代、40~50代、女性50~60代が上昇している。女性より男性のほうが保有率が高い。国際ブランド付きのデビットカードの保有率は25.8%で、昨年から微増。女性30~40代、北海道の保有率がわずかに低下しているが、他の属性は上昇しており、感染防止目的に増えている可能性がある。
- 利用率は12.6%で、こちらも昨年から微増。
- デビットカードを利用する理由は、「残高のある分しか利用できず、使いすぎないから(36.7%)」が最も高い。また、「デビットカードに興味があったから(25.2%)」が昨年から5.2pt上昇。

## ■デビットカード保有率/利用率



※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。「ご利用金額がその場で、銀行口座から引き落としされる即時払い式カードです。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」  
 ※本調査では、2022年9月までに発行されたデビットカードを対象としている



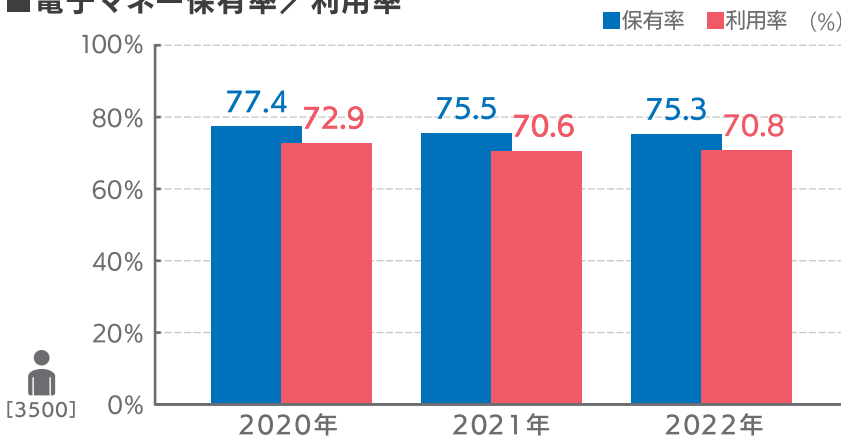
# 12. 電子マネーの利用状況



電子マネーの保有率は75.3%、利用率は70.8%と昨年と同程度。  
業種別では、昨年同様「コンビニエンスストア」、  
「スーパーマーケット」での利用率が高い。

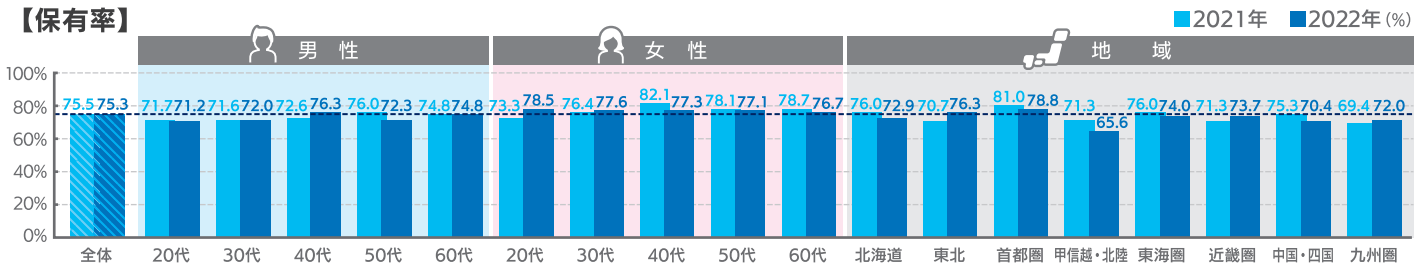
- 電子マネーの保有率(75.3%)、利用率(70.8%)はともに昨年と同程度だが、女性20代が上昇している。利用率も同様の傾向がみられる。
- 電子マネーで支払いをしている業種は、「コンビニエンスストア(38.5%)」が最も高い。次いで「スーパーマーケット(34.8%)」が続く。ファミリーレストランは2019年から上昇傾向(2021年比+1.1pt、2020年比+3.9pt、2019年比+7.6pt)にある。

## 電子マネー保有率/利用率

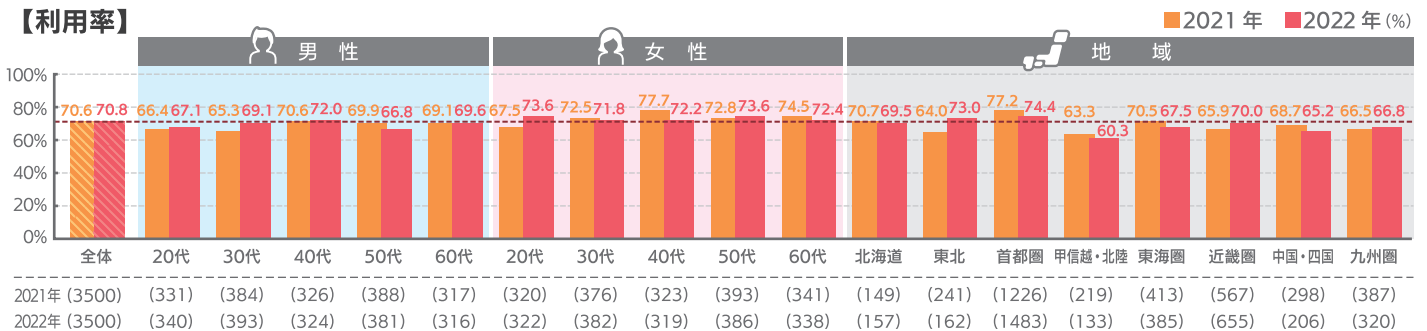


※2019年までは、本調査で電子マネー「楽天Edy(エディ)」、「交通系電子マネー(PASMO・Suica・Kitaca・TOICA・manaca・ICOCA・SUGOCA・nimoca・はやかけんなど)」、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

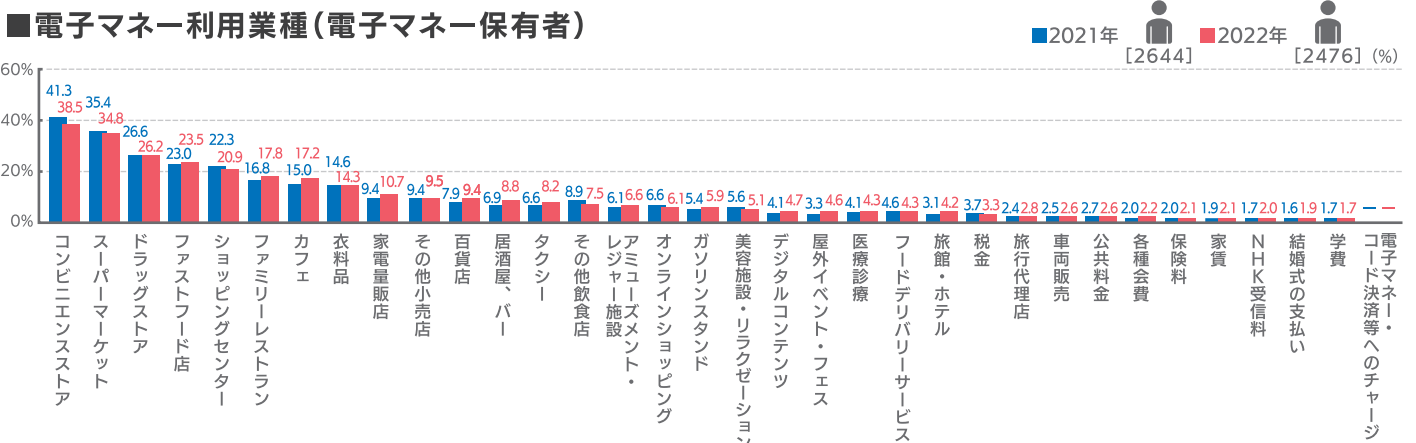
### 【保有率】



### 【利用率】



## 電子マネー利用業種(電子マネー保有者)



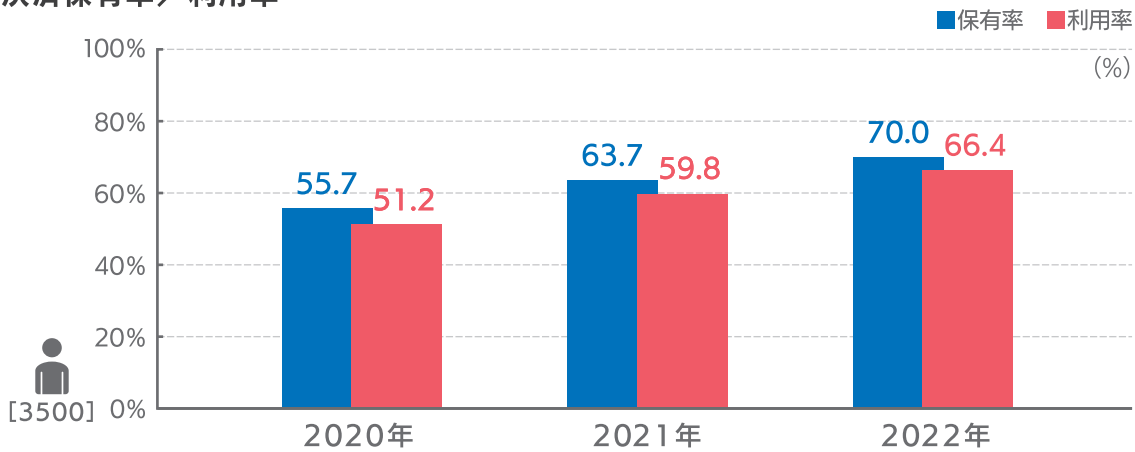
# 13. コード決済の利用状況



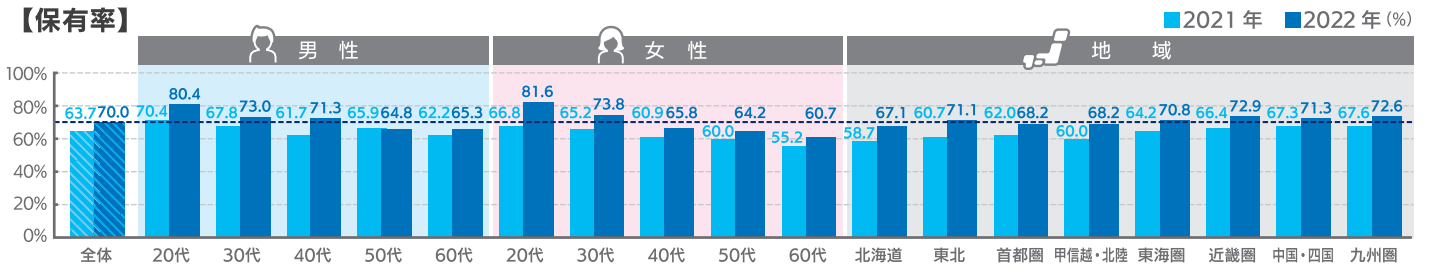
※コード決済：スマートフォンやタブレットでQRコード・バーコードを読み取りして支払いするサービス（auペイ、d払い、LINE Pay、PayPay、メルペイ、楽天ペイ等）  
 ※2020年は「スマホ決済：スマートフォンやタブレットを用いて支払いをするサービス（Apple Pay、LINE Pay、PayPay、楽天ペイ等）」で聴取していたため、今年度に合わせて算出し直している。

**コード決済の保有率は70.0%、利用率は66.4%と2020年から上昇傾向。女性20代の保有率、利用率が大きく増加。業種別では、「コンビニエンスストア」、「ドラッグストア」、「スーパーマーケット」、「ファストフード店」での利用率が高い。**

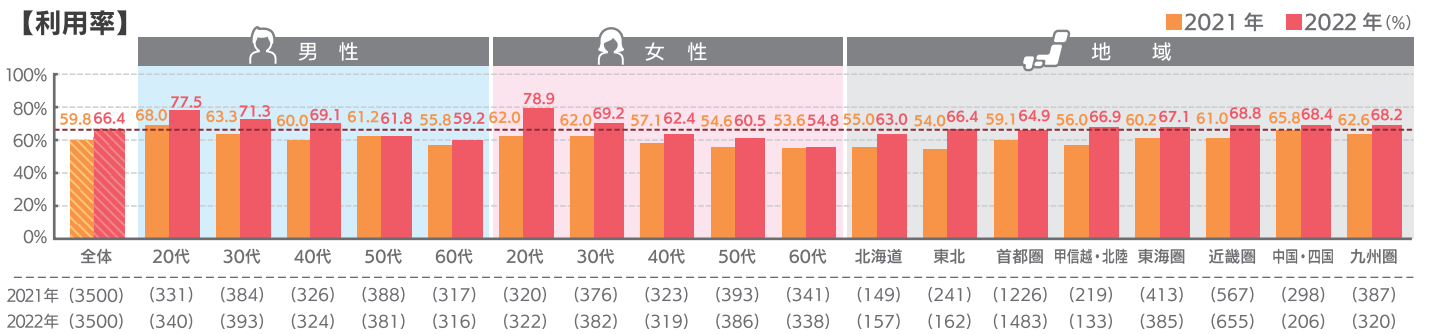
## ■コード決済保有率／利用率



### 【保有率】



### 【利用率】



## ■コード決済利用業種種（コード決済利用者）

